

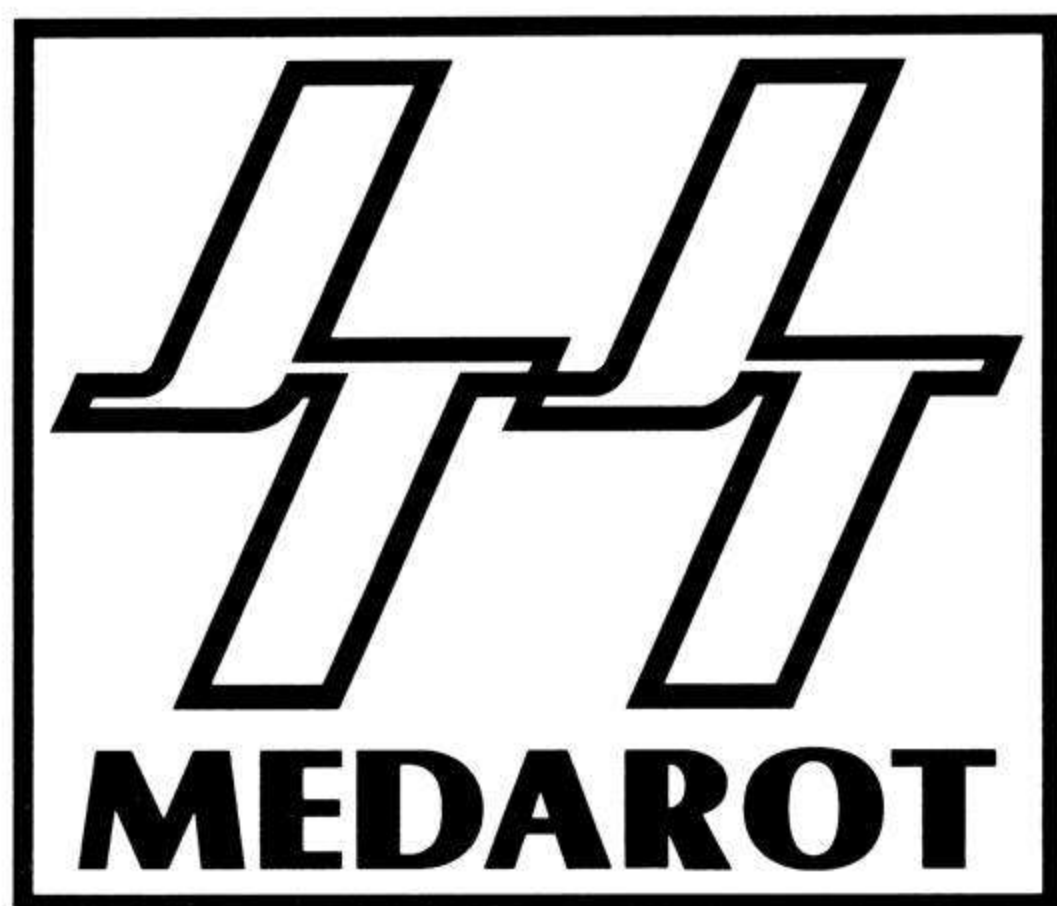
**LUMPER-SHEIDER**  
**presents:**

**WARNING:**  
**ADULT**  
**ONLY!!**





**LUMPER-SHEIDER presents:**



**WARNING:  
ADULT ONLY!**

**R-21**

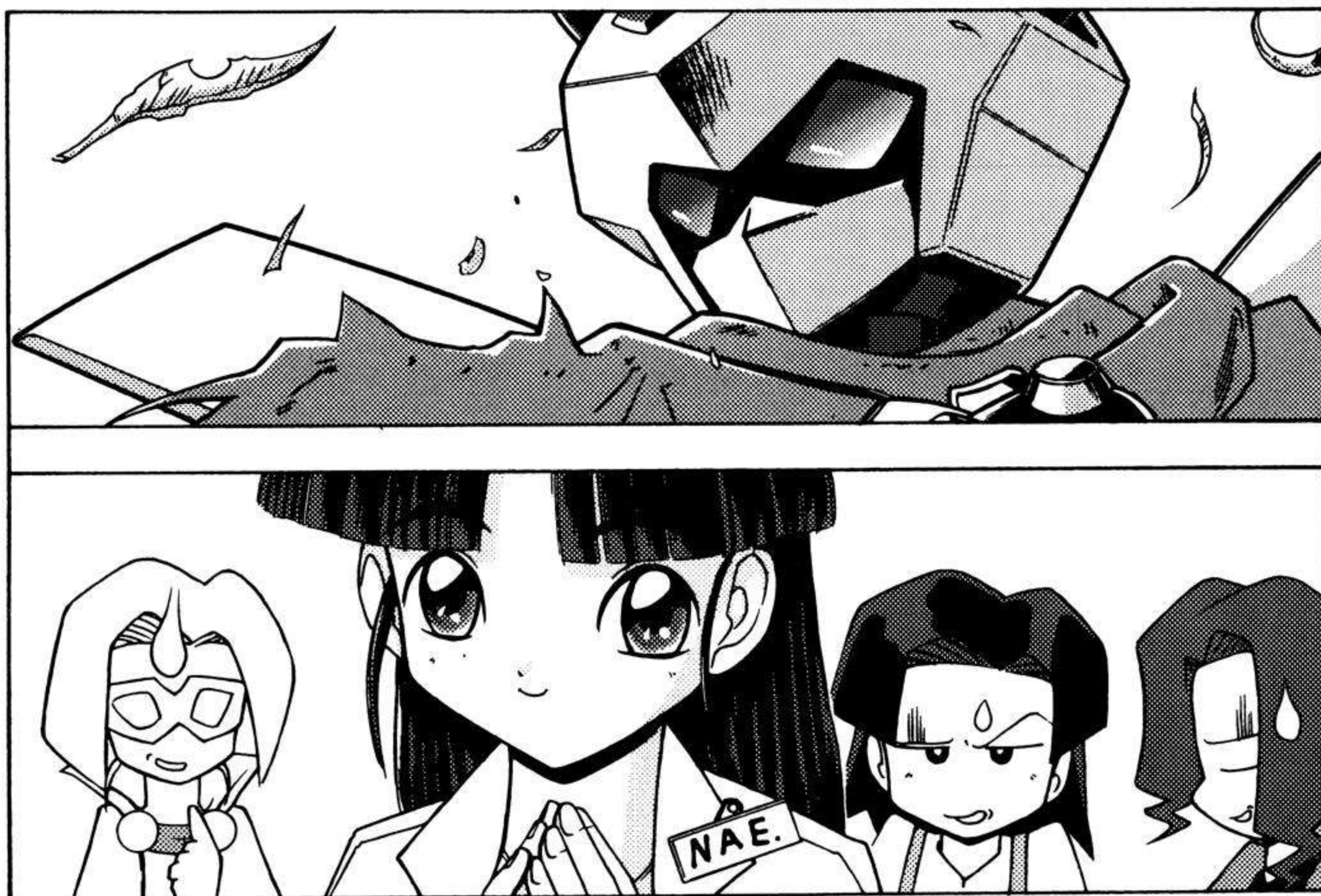


## まえがき：

この本は小町屋発行の同人誌「FANHOUSE #15&16」に掲載された「メダロット」もののマンガで時間的な制約で掲載されなかった「竹」を個別の発行物として編集したものです。本来16Pで済まされるはずだった内容が膨張した結果、筆者の予想を裏切る作品となりました。率直に一言で表現するならば「出し遅れの証文」です。しかし皮肉にも発行が送れた事で個人的に初めてのデジタル入稿での出版の運びとなりました。何はともあれ、行ってみましょうか？

## もくじ：

キャプチャー 1 .....	5
キャプチャー 2 .....	25
キャプチャー 3 .....	45
解説 .....	66





## 始まり

とあるおみくじ小学校の昼休み、  
キクヒメ達スクリューズはアリカに  
呼び止められ、放課後ある場所で  
待ち合わせを一方的に約束させられた。  
彼女の言う事には、何らかの個人的な  
頼み事があるというらしい。又何かの  
取材に巻きこまれたのではと半信半疑の  
彼女達だったが渋々待ち合わせの  
公園へとやって来た。そして…

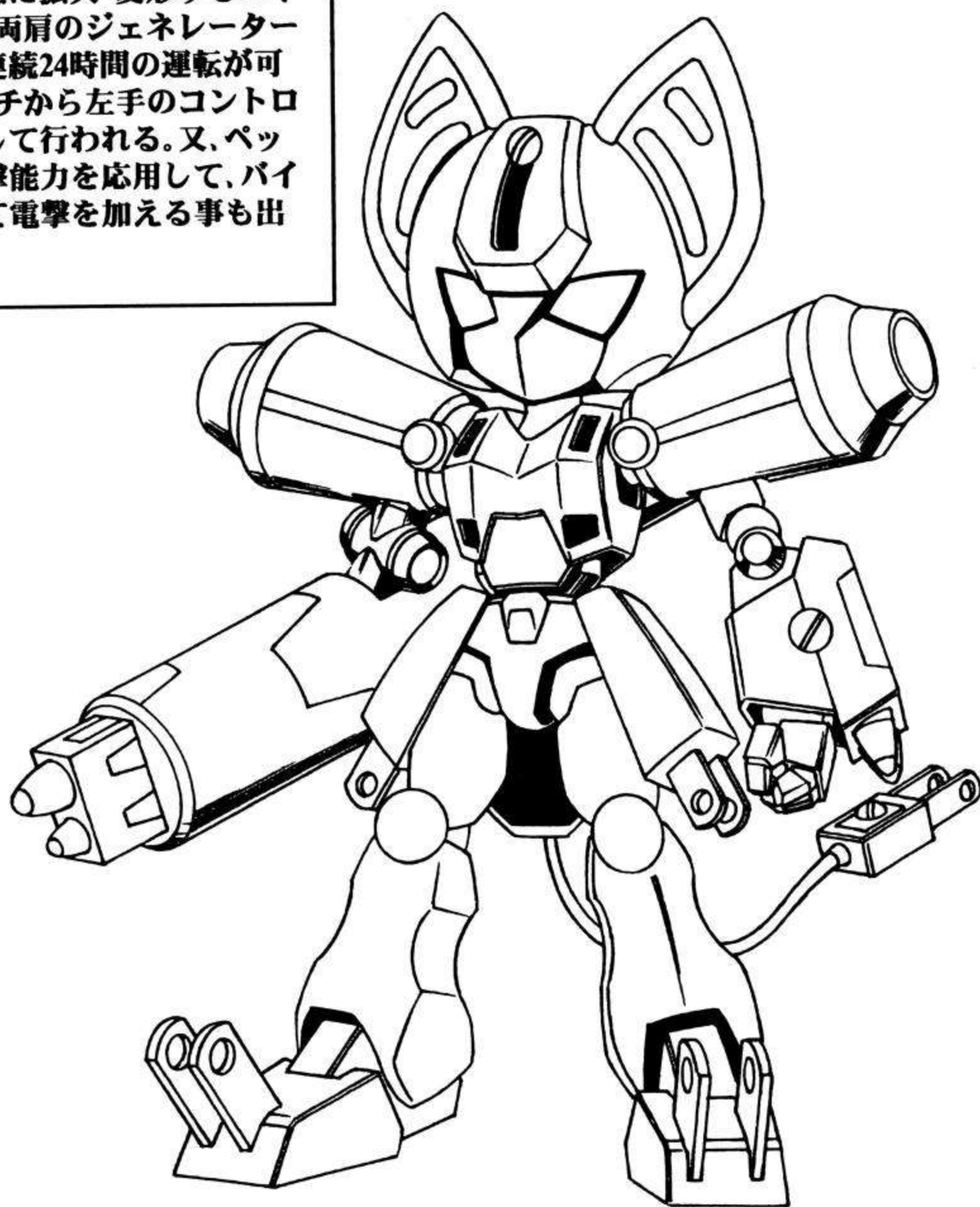
# キャプチャー 1

2020年×月×日 PM3:00

おみくじ小学校近郊  
公園にて

ペッパーキャット with  
トレーニングパーツXP

右手にあらゆる形態に拡大・変形するパイプレーターを装着。両肩のジェネレーターを電源として最大連続24時間の運転が可能。操作はメダロッチから左手のコントロールカードを中継して行われる。又、ペッパーキャットの攻撃能力を応用して、パイプレーターを介して電撃を加える事も出来る。





——あゝあ  
もうタ方ツスよ

……アリの奴  
こんな時間に  
呼び出しといて、

スクリーンも  
ナメられたもんですね  
……どうします  
親分？

——フツ  
誰のせいで  
ナメられてんのか  
分かってんのかよ  
イワノイ？

？

——あれ  
アリカツスよ

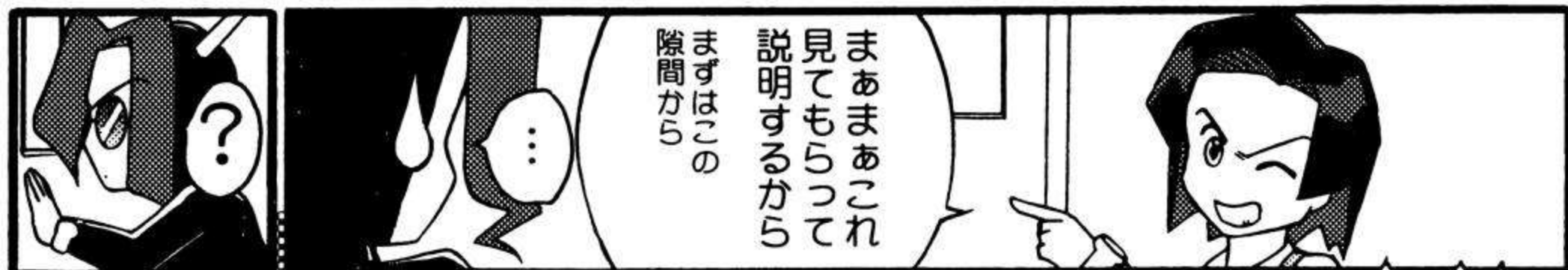
……いやあ  
待つてたよオ  
——ささコッチ

——あれ？  
こつて使つてない  
プレハブのハズ……

別にロボトルしに  
呼んだんじゃないの  
……これ着てみて

……………  
何これ？





まあまあこれ  
見てもらって  
説明するから  
まずはこの  
隙間から



——こ  
れって…

何言ってるのよ  
伝説の  
メタロッター  
…知らなかった？



せっかく道楽に  
加えてやったん  
だから  
ウマくやりなよ

アタシは別に  
欲しい物は先に  
シボリ取ったから  
後は道楽ね



ここじゃ  
アンタ達は  
ロボロボ団として  
あの娘の痴態を  
ダシに大金を  
搾り取るのさ

いっぱしの  
フルならこれ位  
カマさなきゃー？

…ハハハ…で  
ても…何でアンタだけ  
スッピン…？



ペッパキヤット  
左右アーム転送  
Bパーツ転換

シアンドッグ  
Aパーツへ  
転換！

キースタートル  
Pパーツへ転送  
…準備完了！

さーあ  
パーティーの  
始まりよオ  
思いつきり  
ハメなずしなアー

お……



…もう  
許してエ

…私の知らない  
何かで粗相が  
あったのなら  
あやまりますから…

—このままだと  
私…おかしく  
なっちゃう

—アンタねえ  
こうまでされて  
まうだ自分の  
立場ってモノが  
分かってないの？

今のアンタはネ  
私の写真一枚で  
どうにでも  
出来るのよ！

も・ち・ろ・ん・  
キチンと言いつ事を  
聞けば  
可愛がつてあげる

ぺーっとしてネ

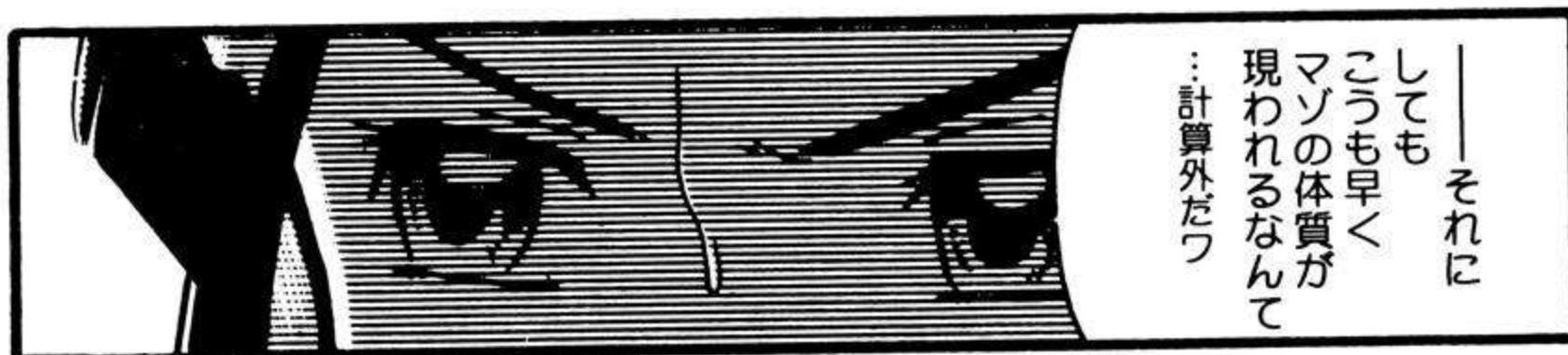
—あの  
俺達って一体…

…アタシに聞くな











——ま その方が  
今は好都合だし

…あ

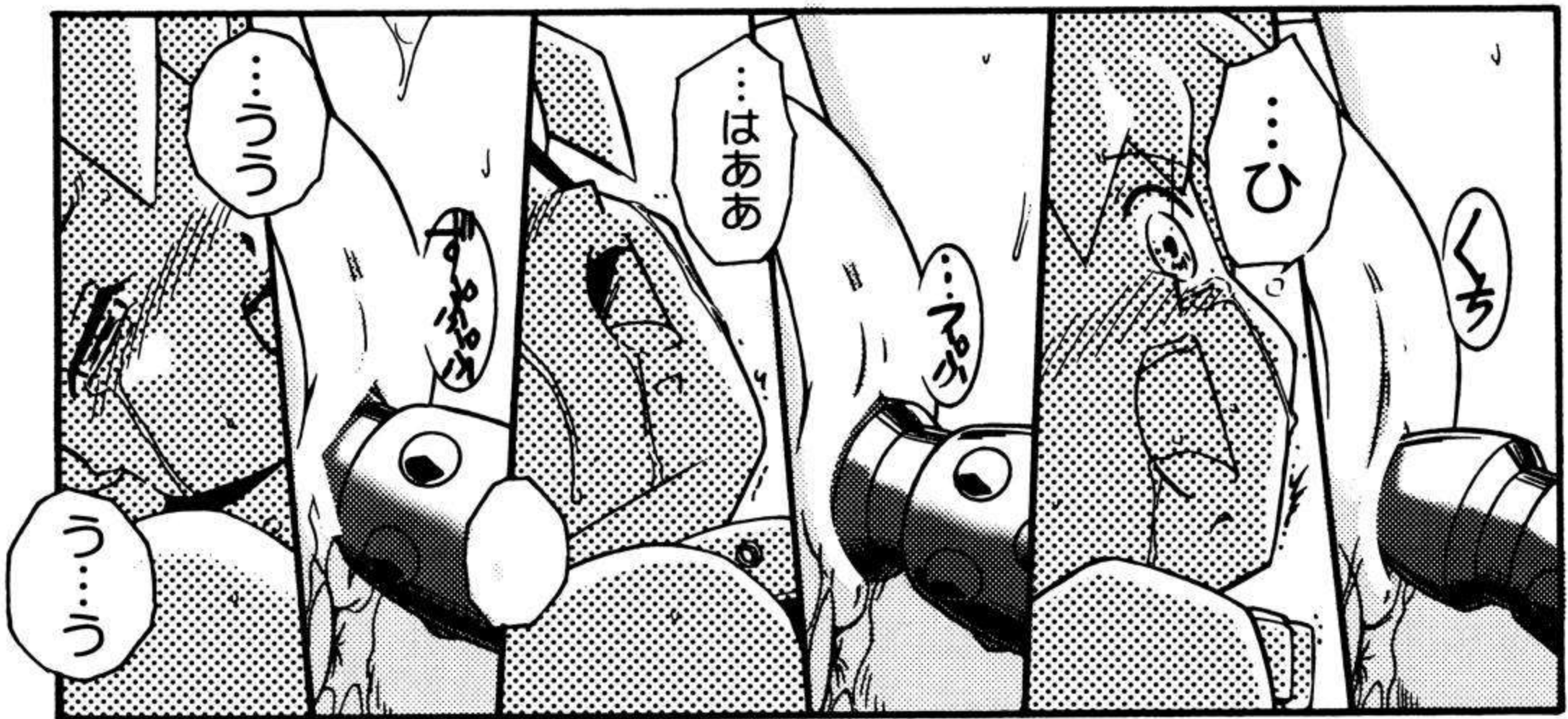
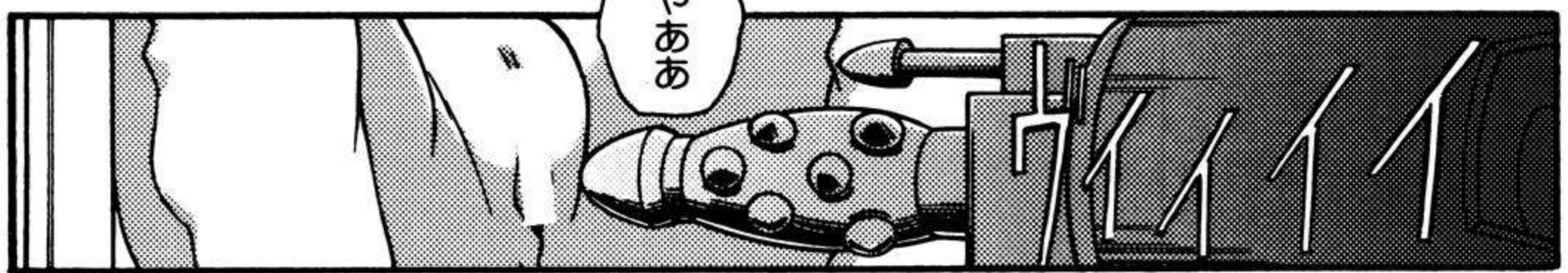
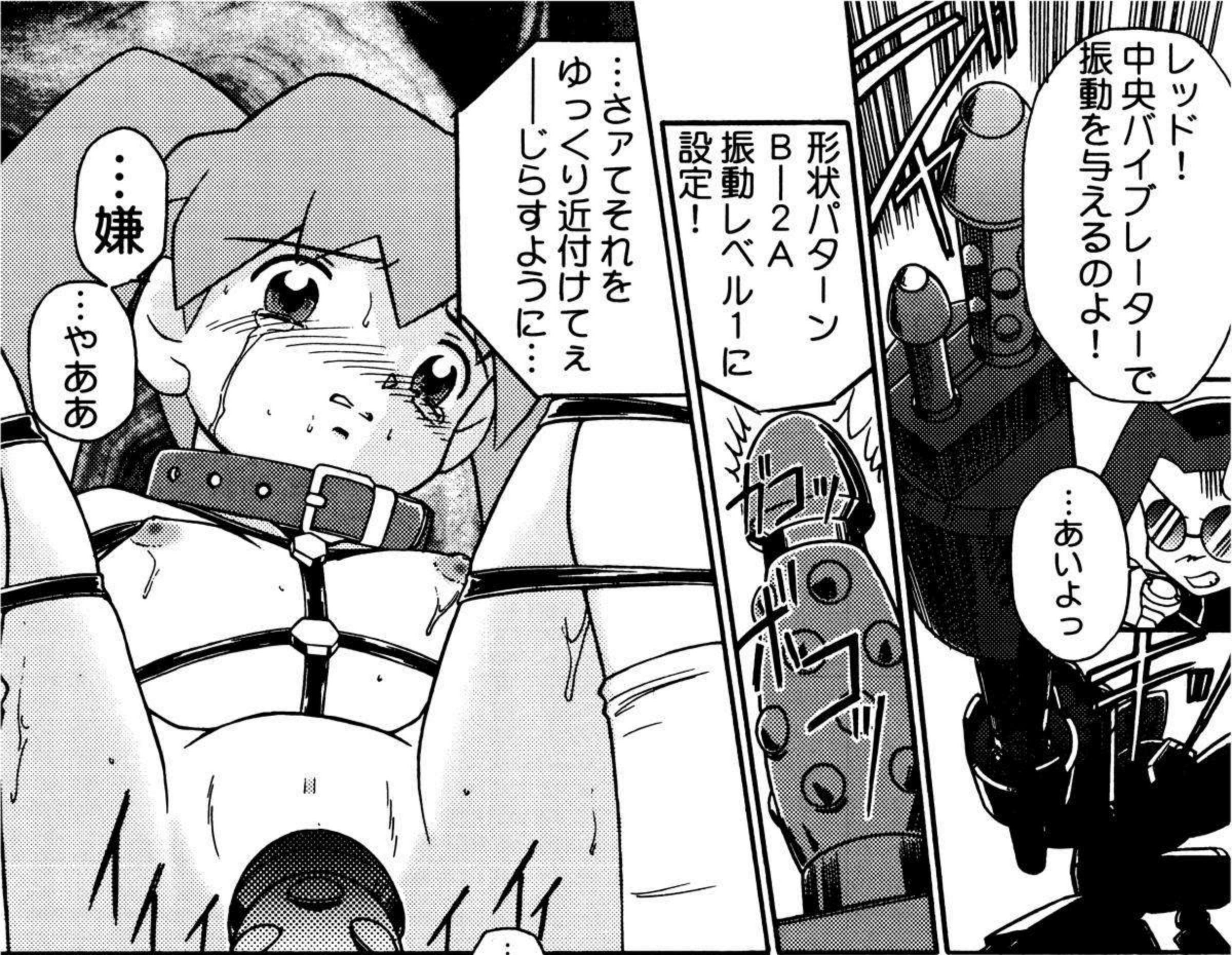
——あ…私  
あたし…

大体の位置は  
私が指示を出すから  
言う通りにやってね

——いいかいアンタ達  
うまくメタロットを  
操作しながら  
そのビデオカメラで  
撮影するんだよ

…へい







あああああ  
あああああ

ああ

…あ

—何なの  
コイツは…?

こんなのまだ普通の  
ヤツでしょーが  
…さっさとイッて  
どーすんのよ?



…お 御願  
い  
アリカさあん  
何とかしてえ

—アソコが  
気が…変に  
なっちゃうよ  
…

……

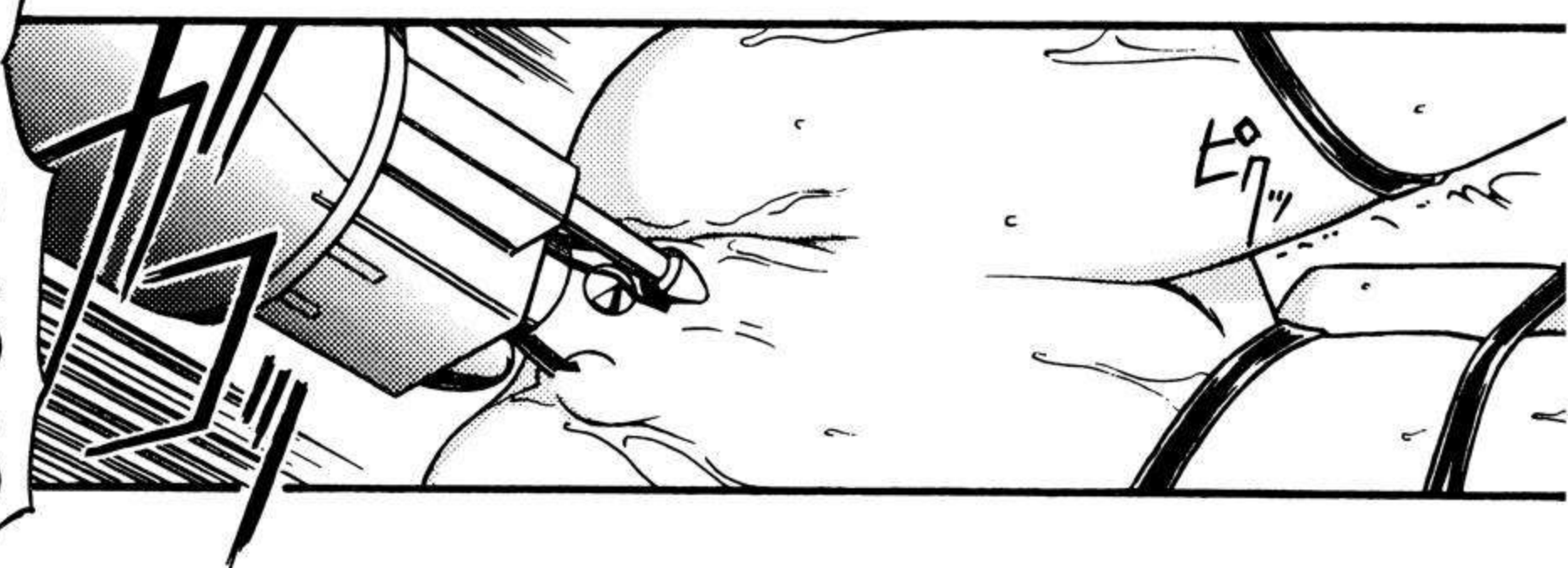


レッド!  
設定変更!!

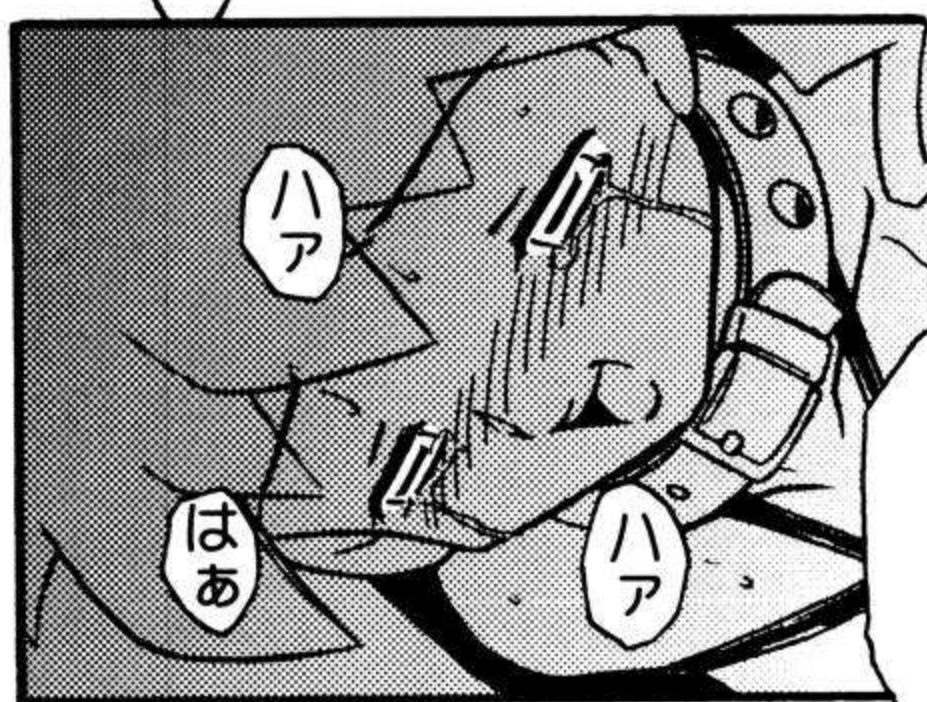
形状C-4B  
作動パター  
ン  
2Cに  
レベルアッ  
プ!

—え

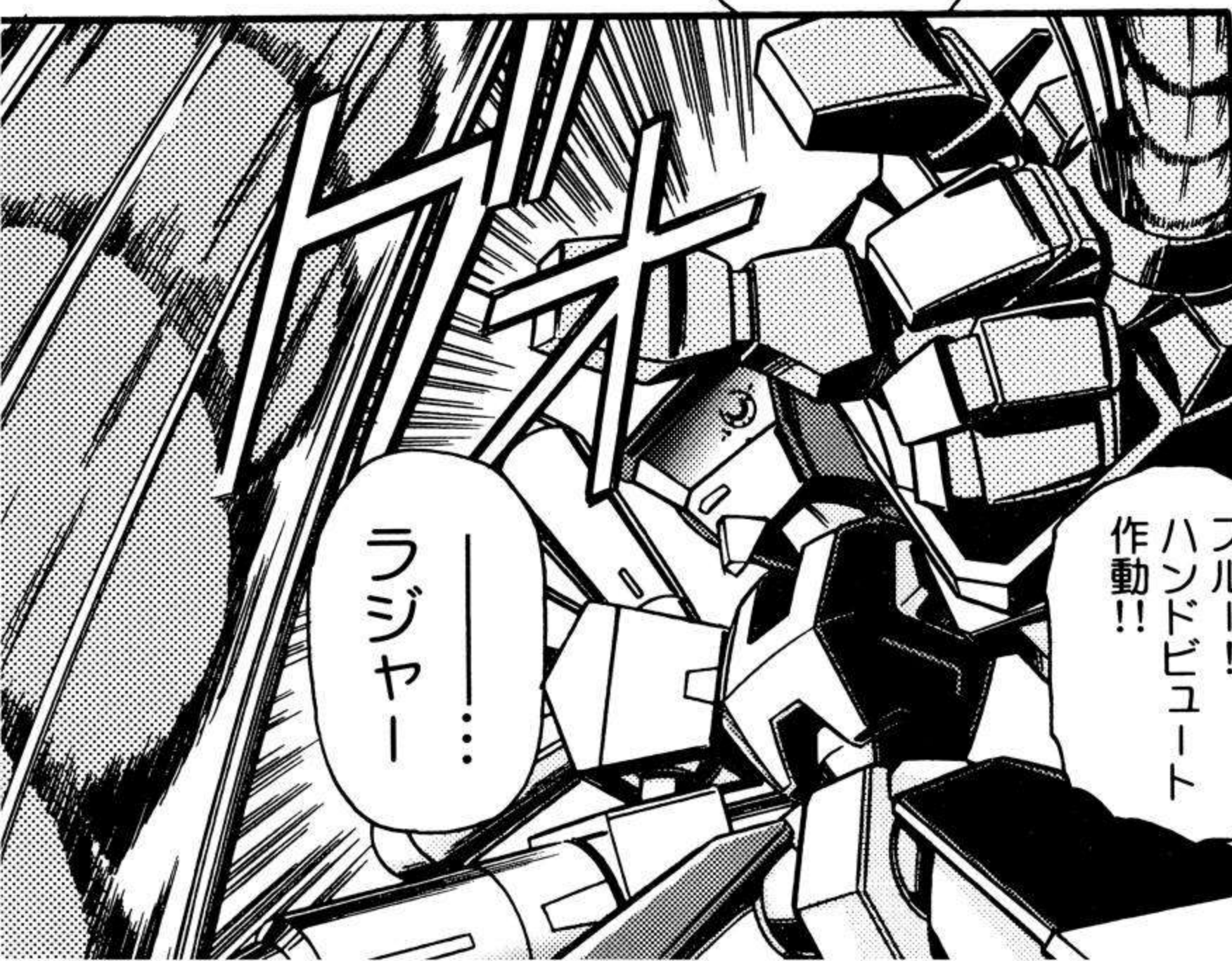
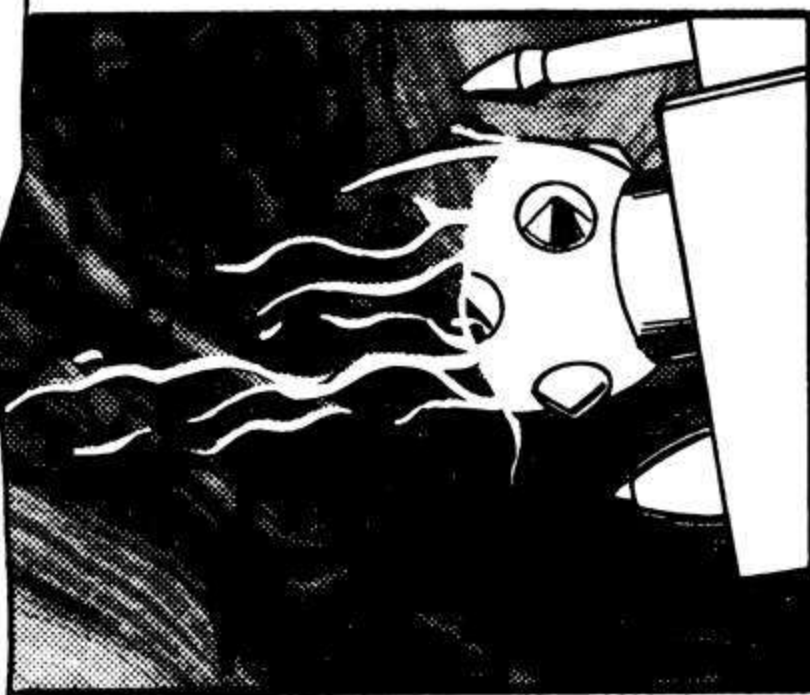
うあああ  
ああッ







——やああ  
中で…大きく中で…う  
なってるう  
うねってるうう



ノツてきた  
みたいだね

ブルー！  
ハンドギュー  
作動！！





…ひびい

あがああ…あ  
あ…あ…あ

ひ…  
く…

…ひ

…お  
おな…かが  
— 苦しい

…あ  
あそ…こ…も  
— お尻も…こお  
…壊れ…ちやう…

は…あ…  
私…私…い…

…はあ

は…あ

…あ



…貴女もしかして  
イキそうなんじゃ  
ないの？

…はあ

—そう  
分かったわ

…レッド&ブルー  
ファイニッシュよ！

—分かりません  
…でも…何だか  
恐…いの…

…私 何だか  
飛んでいっちゃう  
—みたい…





ああああ  
いいやあ

あ..あ

あア

あ..あ  
あ..あ



「いやはあ  
キミタチの  
御陰で  
いい絵が  
撮れたヨ  
見込んだ甲斐が  
あったってモンだ」

「…あ それから  
三日後に撮影した  
ビデオをダビングして  
渡すから  
これであの娘から  
好きなだけカツアゲ  
しときな——ま  
ギャラの代りネこれ」

「…へ〜い…  
もうケッコ〜っす…」

「あーそうそう  
キミタチも御苦労様  
：後で御主人様から  
何か買ってもらいな」

「あ〜ちかれたび〜」

「貴女にはもう一つ  
やってもらいたい  
事が残ってるから  
今日はそれで終わらじよ」

「今日はそれで終わらじよ」

「ハア」

「ハア」

「…はあ」


「…あ」

「にち」

「ハア」

「くち」





…アンタのその姿  
見た時のアイツの  
顔が見物ね…

…んもう  
アリカの奴

よりによって  
こんな時間に  
呼び出すなんて  
…もう月まで  
出ちゃってるよ

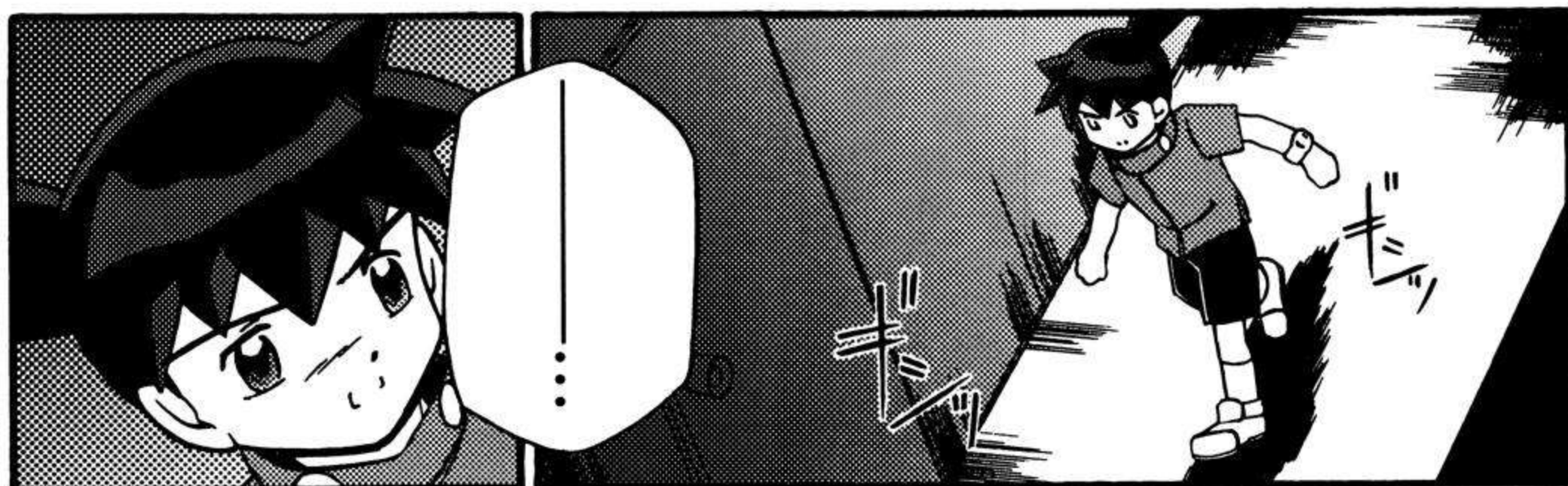
…まあいざという  
時には  
アイツを呼べば  
いいとして…

確か  
あそこだっけ？

?

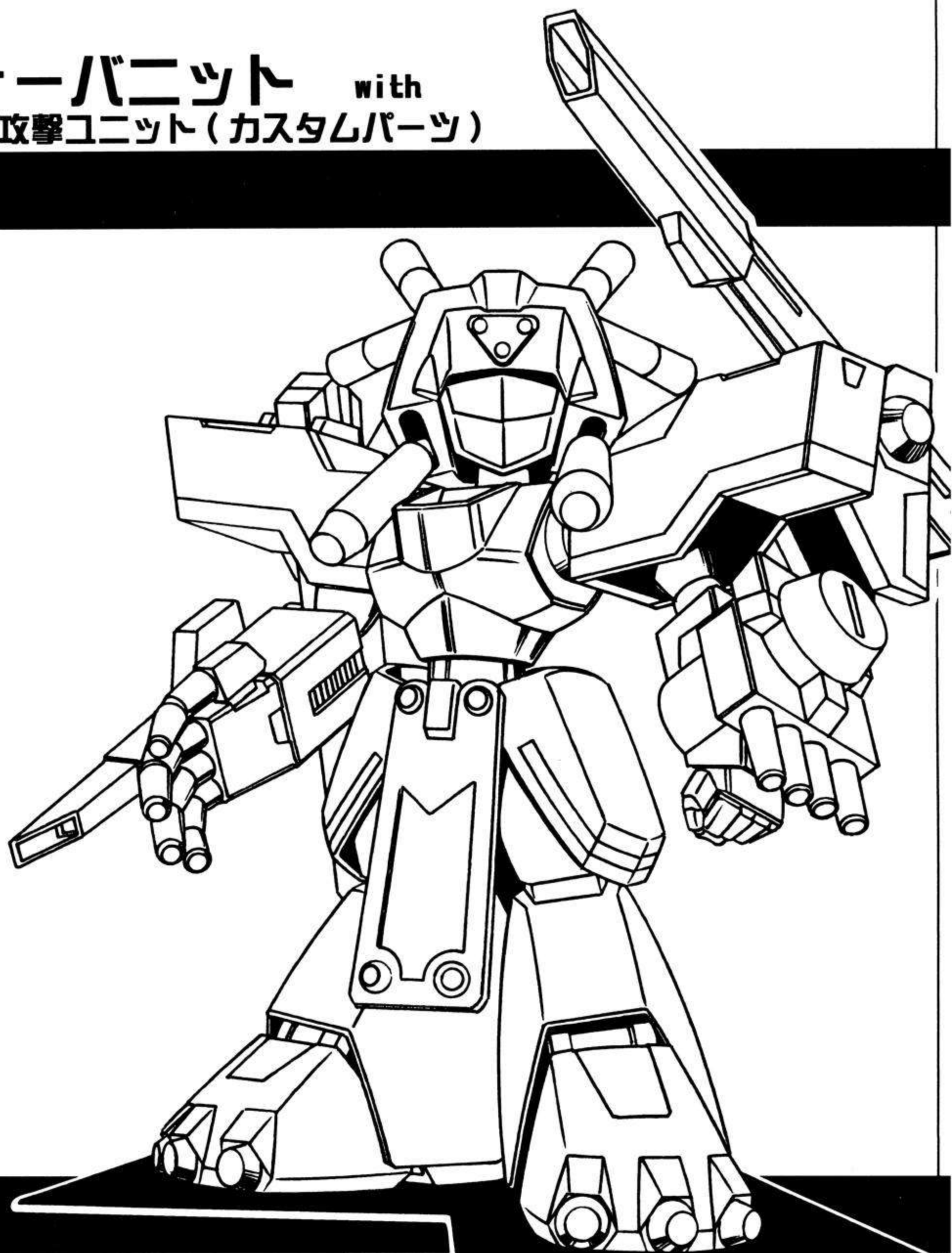
カキカキ  
カキカキ  
カキカキ  
カキカキ







# ウォーバニット with 遠距離攻撃ユニット（カスタムパーツ）

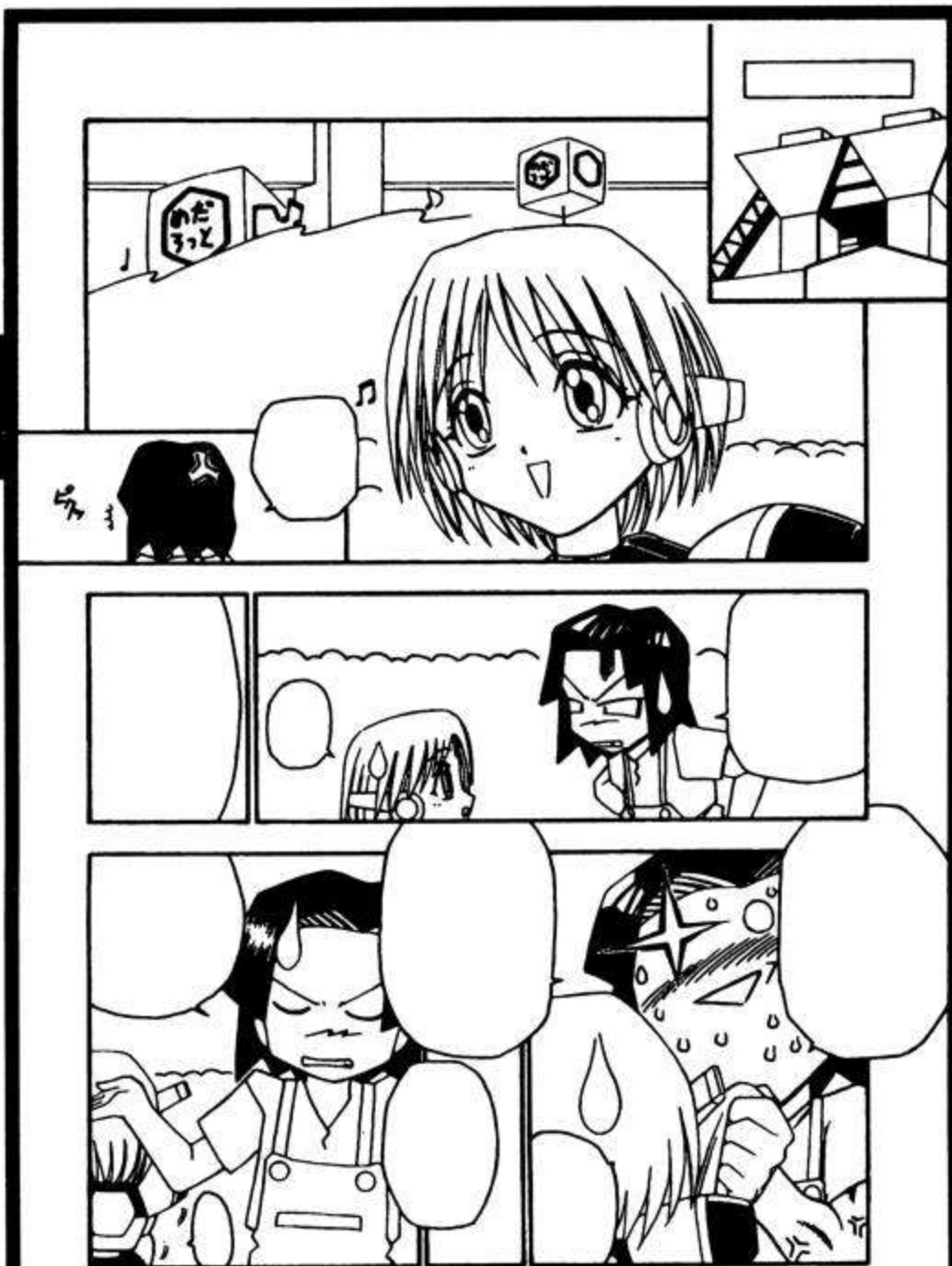


挿絵用に急遽、書き起こしたもののだけでも、気が付いたら大河原邦男調になっていたのが、何つうか…こういった勝手な設定を考え出すと、キリが無い。エロマンガ以外でこういう路線もアリかと考えるのだが、今となっては…（以下略）。感覚としては公式ロボトル対戦の延長上での仕様パーツ、といった所か？

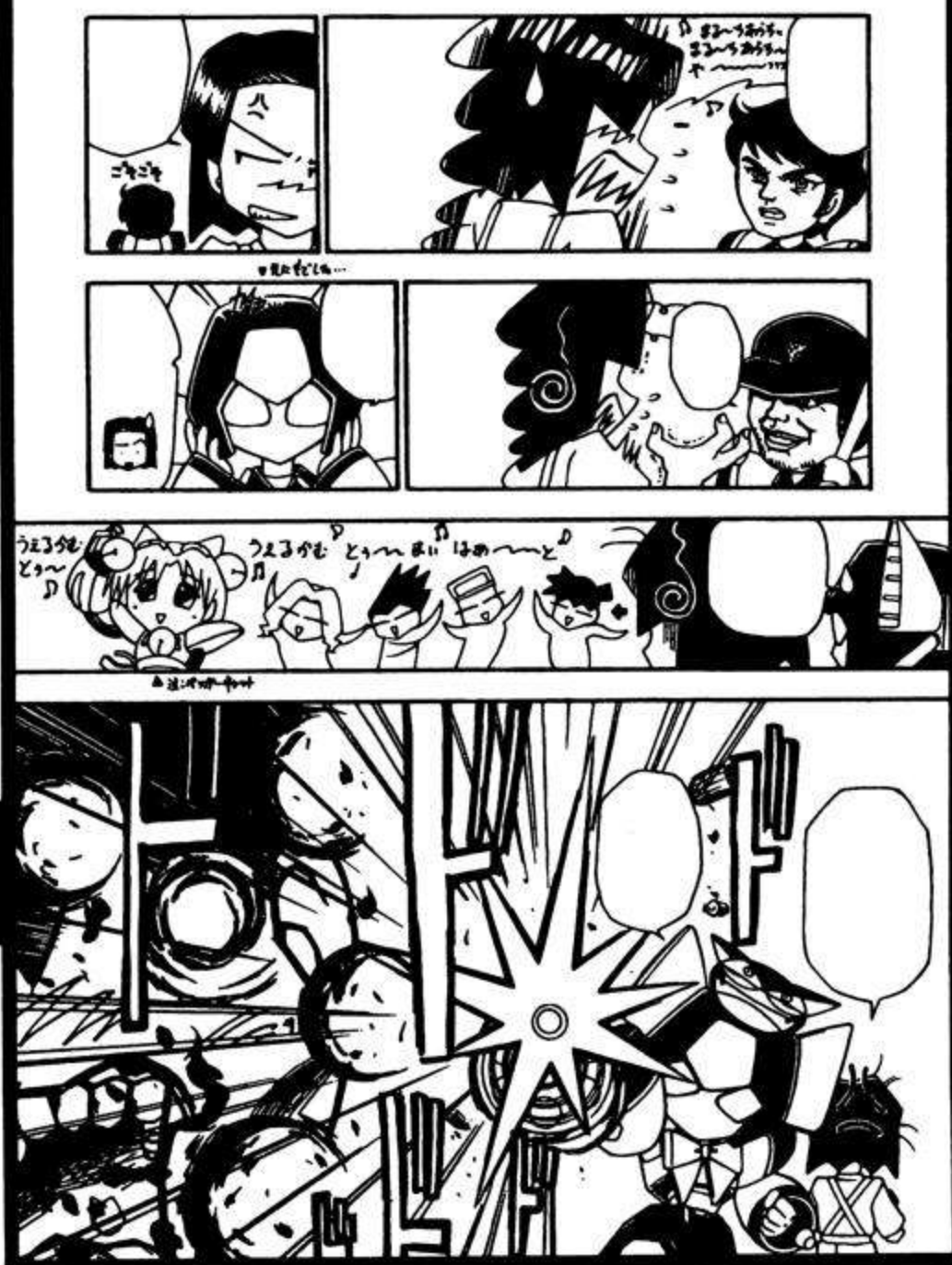


# メダロット松

(FUNHOUSE15&16に掲載)



本来このマンガ、製作意図としては「天才バカボン」の某エピソードに引っ掛けて「松」「竹」「梅」「スカ」の4本構成のシリーズで掲載する予定だったのだが、中核だった「竹」のページ数が膨大な数に膨張してしまい、先に「竹」を除いた3作を掲載し、「竹」は極めて個人的に製作を続行続していたのだ。ついで「FH15&16」を御持ちでない方の為に急遽、手元にあったバックアップを掲載してみた。どういった内容かは外国語の映画でも観る感覚で想像して給え。





そして…

アリカによって、とあるプレハブに  
呼び出されたイツキは、その2階へと  
向かった。彼も又彼女の取材の片棒を  
担がされるものと思っていたが、  
2階のある薄暗い部屋の一つで彼を  
待っていたのは、服はおろか下着すらも  
身に着けていない、あられもない姿の  
カリンだった。その視線は何か熱を  
帯びている様にも見えた。



# キャプチャー 2

2020年×月×日 PM5:00

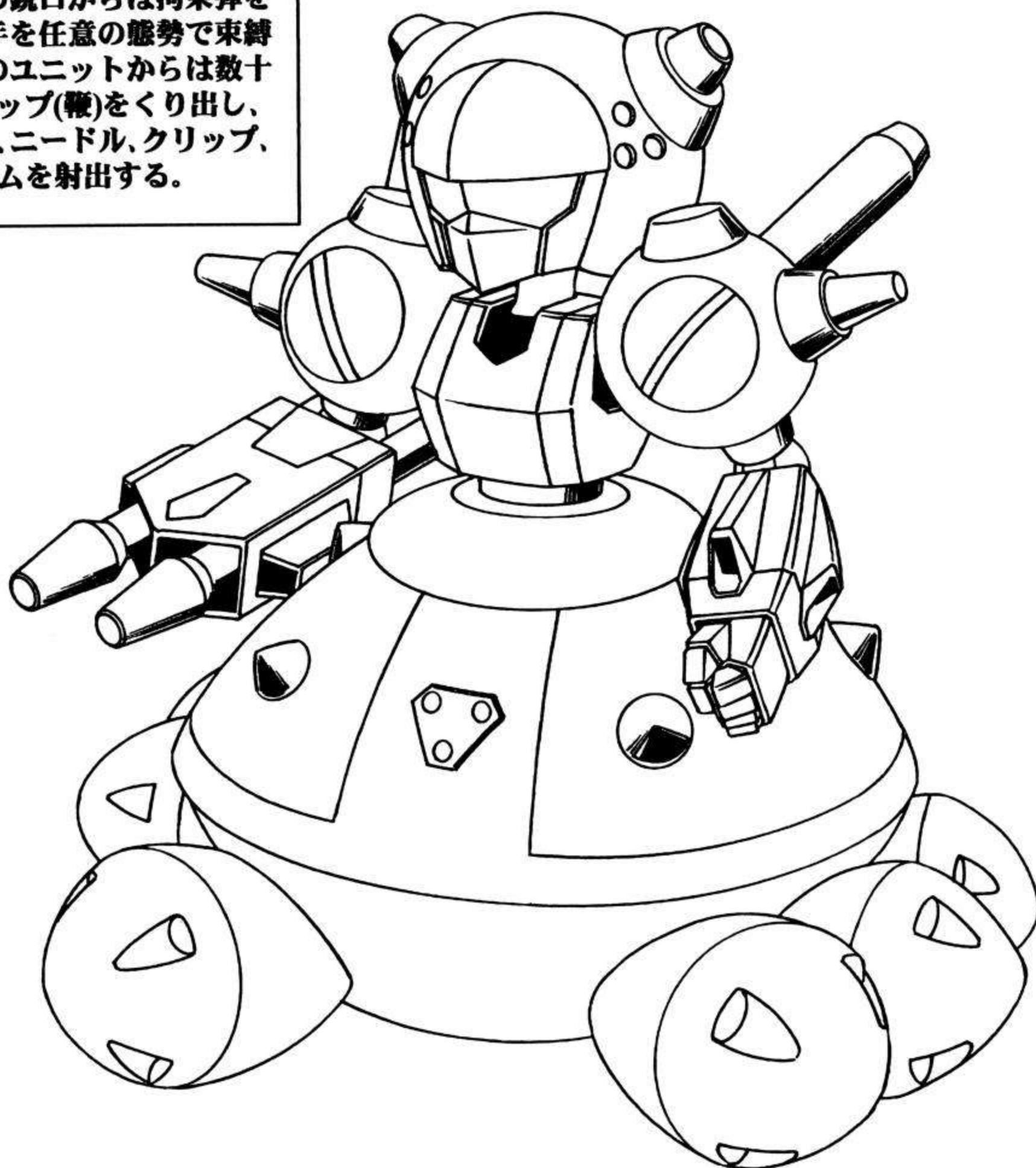
おみくじ小学校より

半径0.8km以内

某プレハブ2Fにて

キースタートル with  
トレーニングパーツXB

左腕の4つの銃口からは拘束弾を  
発射し、相手を任意の態勢で束縛  
する。右腕のユニットからは数十  
種類のウィップ(鞭)をくり出し、  
スタンガン、ニードル、クリップ、  
等のアイテムを射出する。







…カ  
カリンちゃん…

…もうすぐこの部屋に  
イツキの奴がやって来る  
— だけどネ、



…アンタだって薄々  
分かってるハズよ  
アイツは貴女の事本気で  
ホレてんだからサ  
アイツを失望させたくないでしょ？

貴女は絶対に今の  
はしたない姿の自分を  
アイツの前じゃ  
「カリン」と呼ばない事

…あ  
あの…

…ああ…

-27-



— ああ  
見られてる…

私の— 身体の  
隅々に… 痛い位の  
熱い視線を感じる…

…あそこだけ  
じゃない  
— 胸も… お尻も  
自分でもどうし様も  
ない位…

— 私  
とても恥かしいのに  
… 死にたい位  
恥かしい筈なのに  
… とても嬉しい…





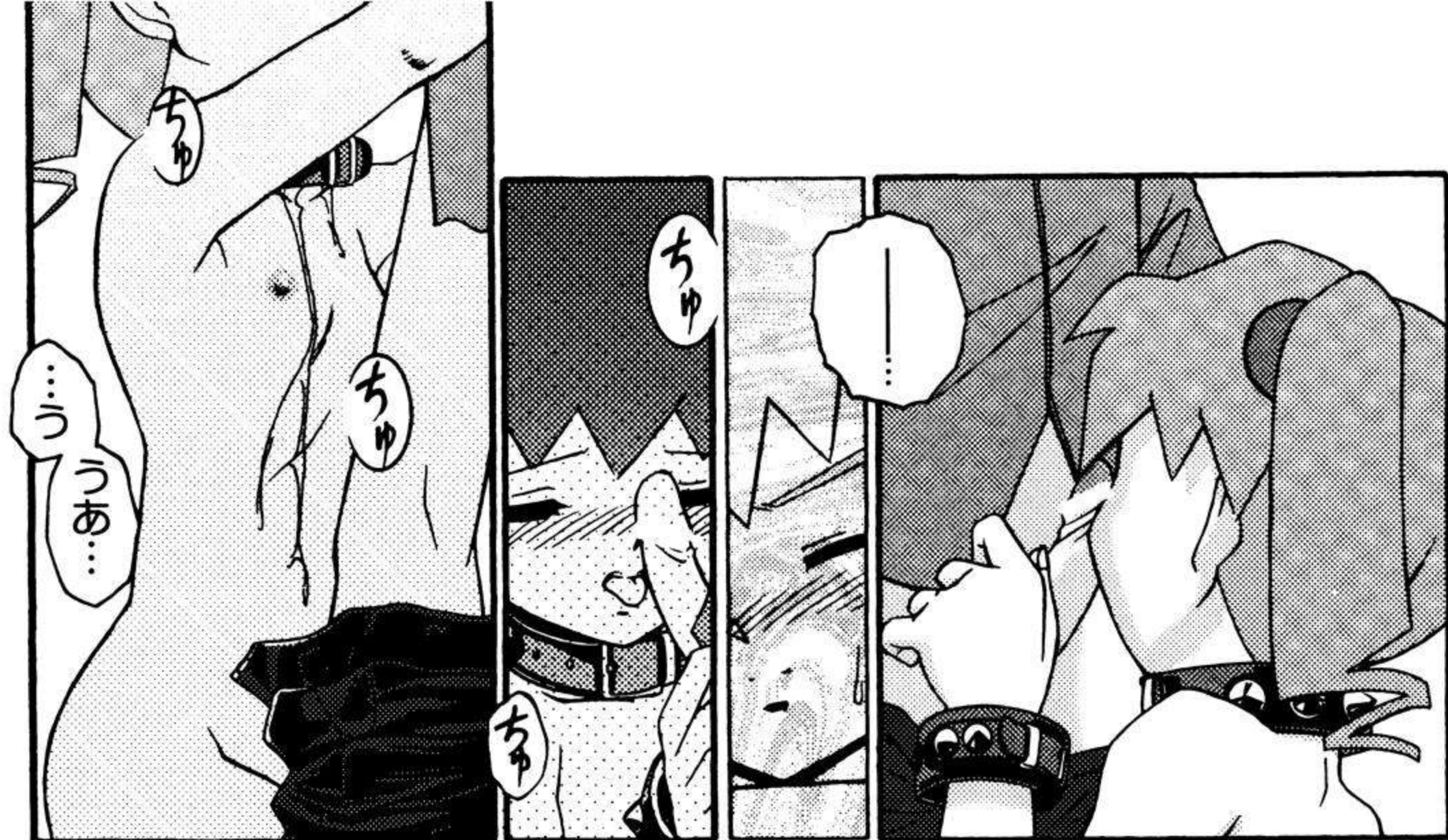




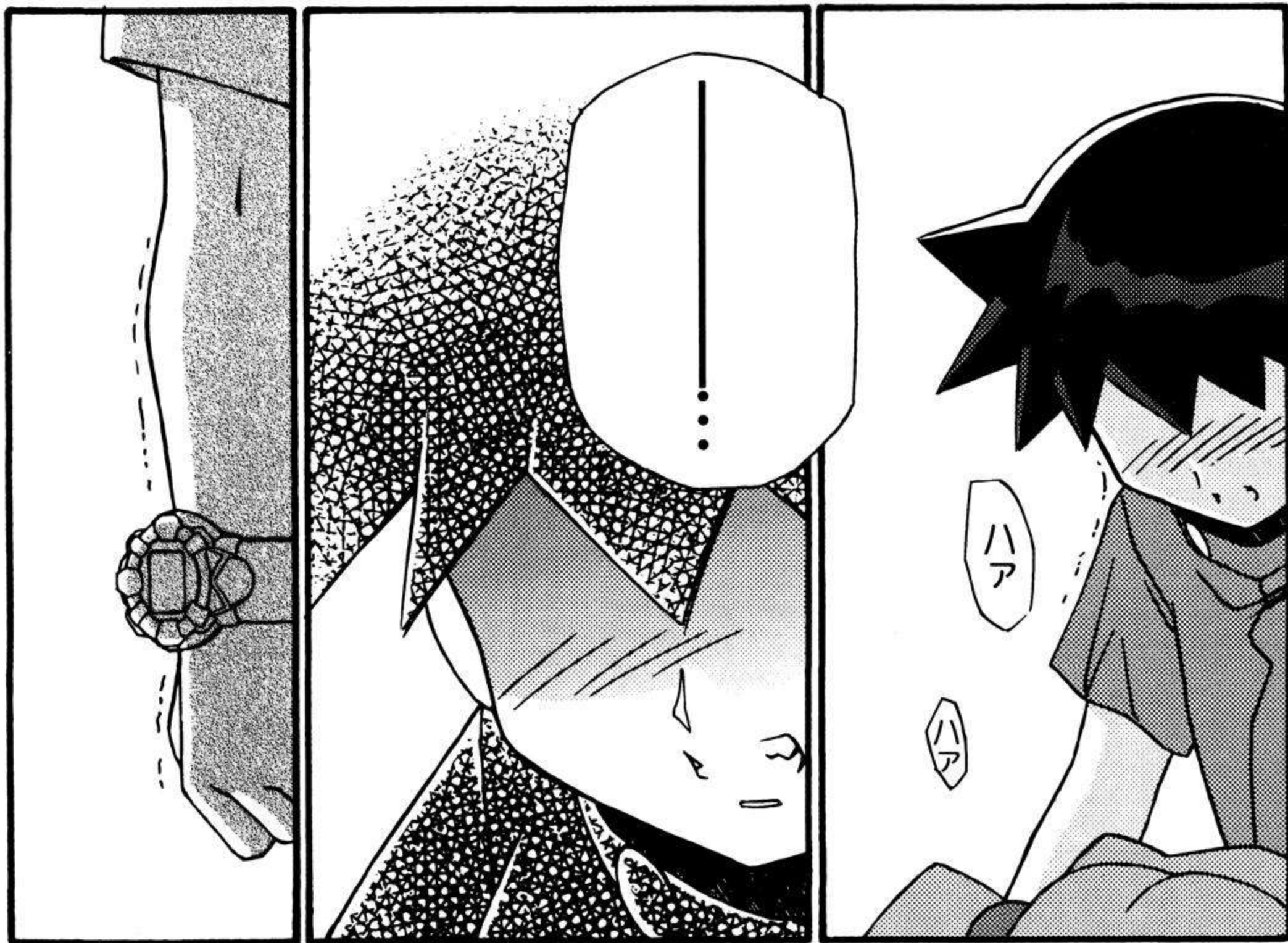














…こんな大人の  
マネをさせて  
——勝手な大人の  
言い訳の真似まで  
して…

俺や君はともかく  
…カリンちゃんはそれで  
本当にいいの？

…そんな風に自分の  
勝手な言い訳を  
——それも一方的に  
人伝いで押し付けて  
…俺の気持ちは…

どうして君が  
泣くんだよ

泣いて御願  
いされたって…



——ごめんなさい

…でも これだけは  
解ってあげて下さい  
——カリン様もとても  
辛いんです

…あの方の事を全て  
許して下さいとは  
言えません…ただ、

あの方の御身分に関して  
私の口から詳しくは  
話す事は出来ませんが  
…あの方の…貴方を  
お慕いする気持ちは  
嘘じゃないんです

-34-

…私みたいな  
あさましい者で  
よろしければ…

イツキ様の御気持ちが  
納まらないのでしたら  
…貴方様の御気の済むまで  
——好きな様にして  
下さい…

——脚  
開いてよ

…ッ





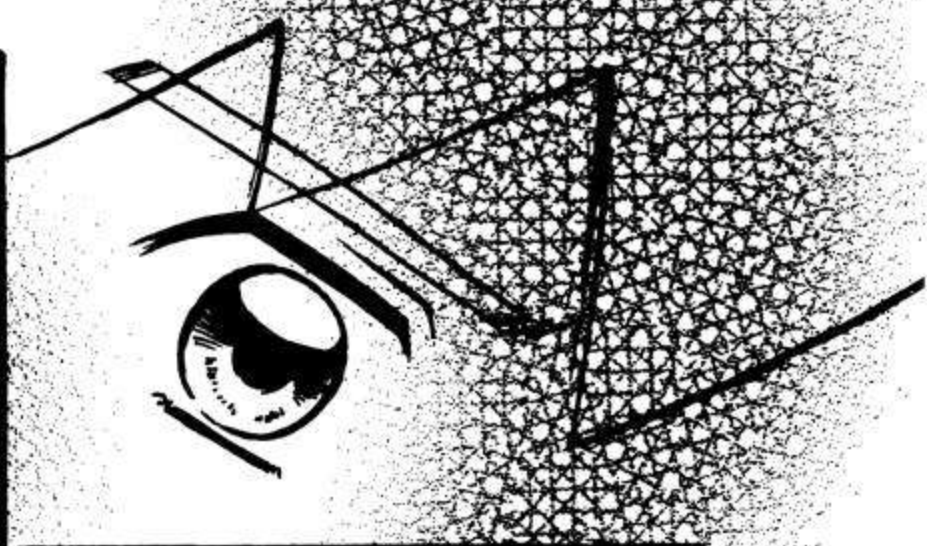
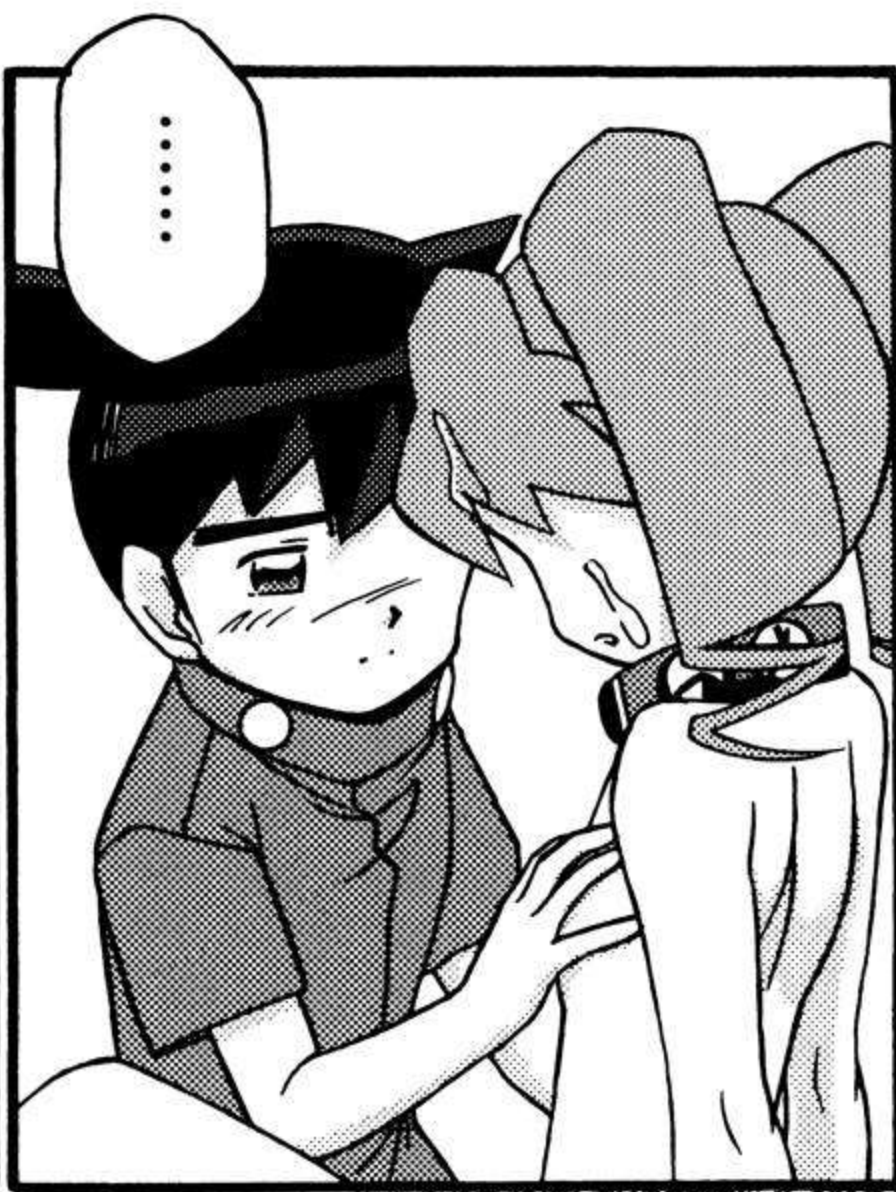
—好きに  
していいんだろ？

分かってると思うけど  
口答えしたら…

—はい

…あああ…







…どうしてそこまで  
カリンちゃんを  
庇うんだ？

俺の事はともかく  
…君にこんな事まで  
押し付けてまで  
綺麗事にすがってる  
なんて…最低だよ

絶対に君より  
ひどい目に会わせて  
やるんだ

—だから  
素直に降参  
しちゃえよ

…ひあああ

ひぎ…

ピクッ

キッ

そ

…それだけは  
出来…ません…

—訳は私の口から  
話す…事は  
出来ません…

…だから

…責めは私が  
受けます…だから  
カリン様の事は—



あひぎあ  
あああ

……  
いいいい……

……  
ひ

……  
はアア……



…いい加減にしろ！

いつまでそんな風に強情張ってるんだよ…少しは自分の事を心配しろよ

…どうしてそんなにこだわるんだよ!?

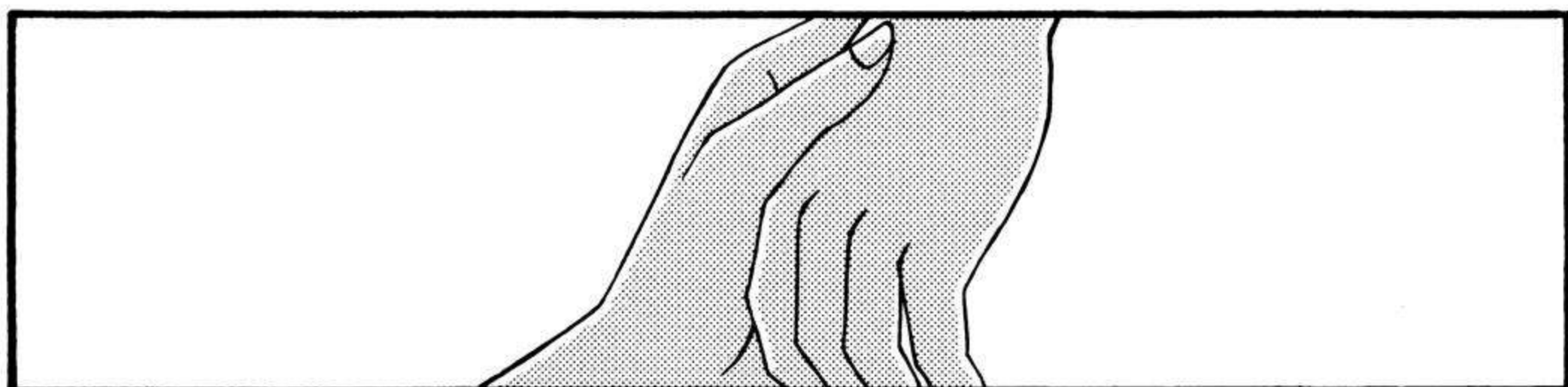
…だって…私—私…

—イツキ様の事…大…好きだから…

好きな人の気持ちなら

—どんな辛い事だって受け入れたいって思うんです

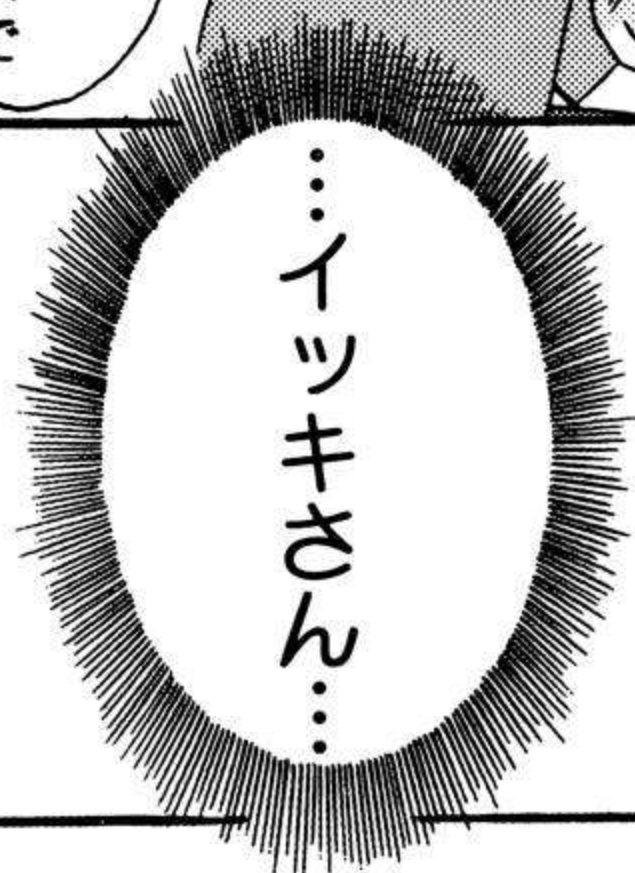
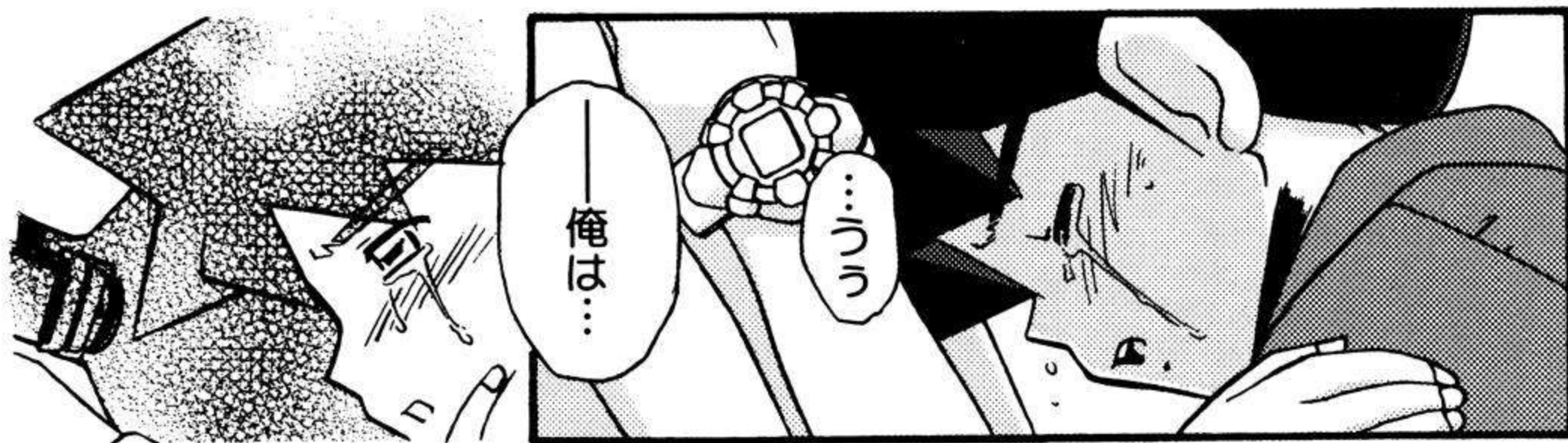










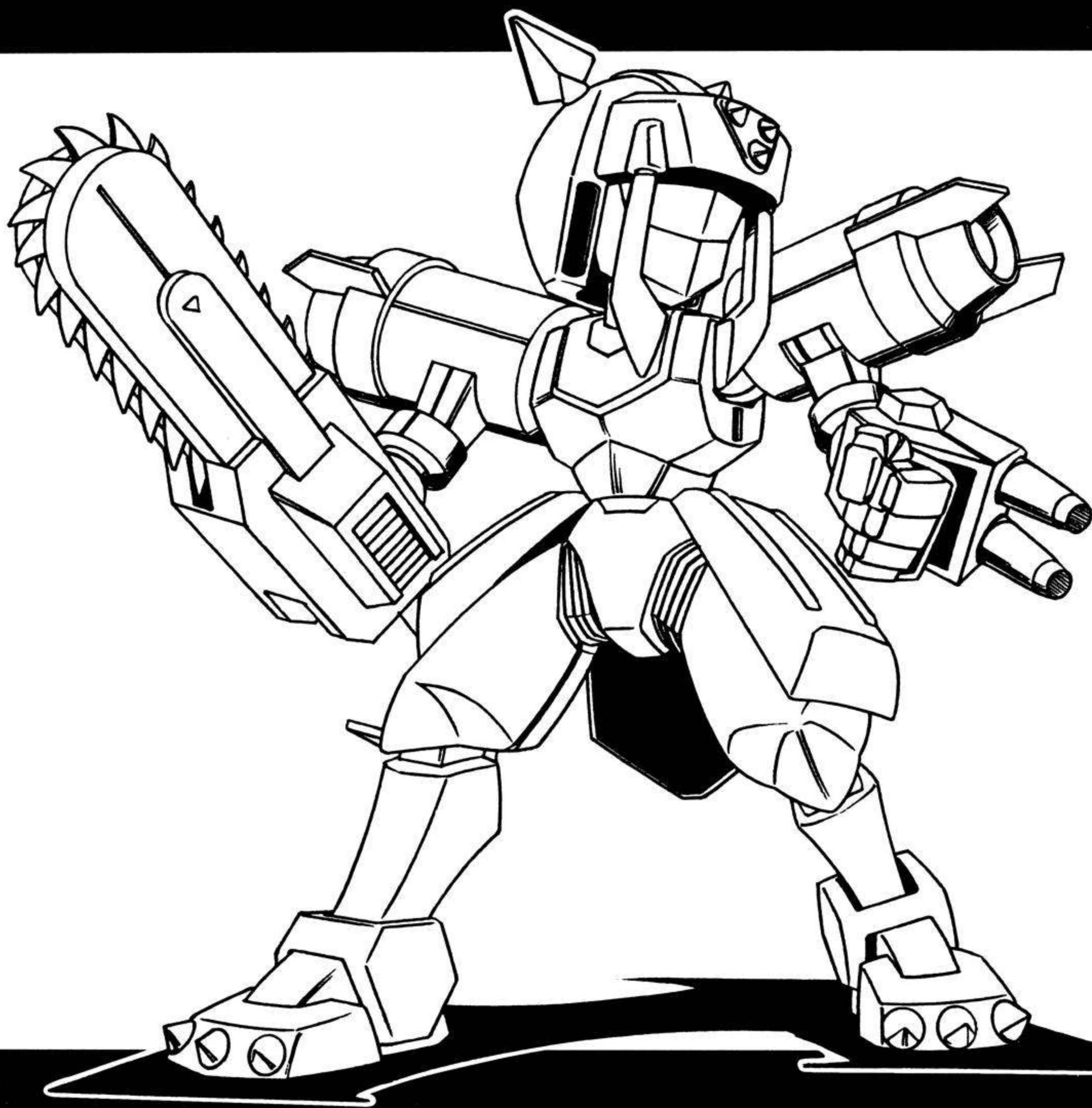


ゴッ…





# スミロドナツド with 局地戦用格闘強化ユニット（カスタムパーツ）

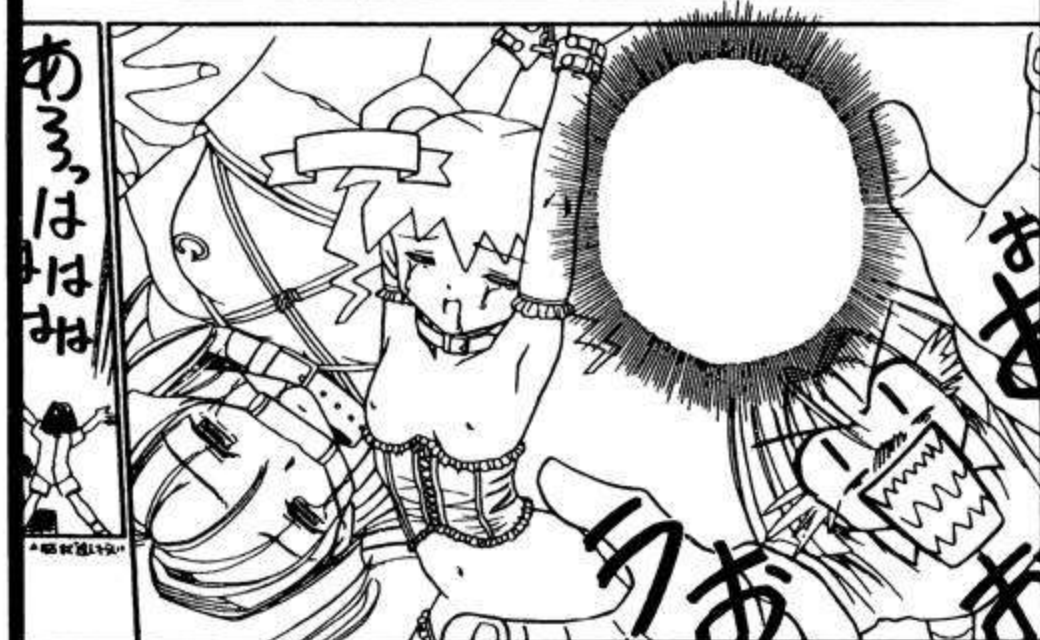


これも挿絵用に急遽、書き起こしたもののだが、運動性を損なう事無く単純な攻撃力を向上させようとした結果この様なスタイルとなった。上半身のバランスを維持する為に下半身用のオプションも検討されたが、実現はしていない（という事にしておこうか…デッチ上げだし…）。



# メダロット梅

(FUNHOUSE15&16に掲載)



シリーズ「松・竹・梅・スカ」の大体の概要としては、「松」はトーン貼りのおちょくり、「竹」はエロマンガ、「梅」はトーン無しの逆撫で、「スカ」は…結局ネタが思いつかなかったの  
で、当時自分で思いついて思いつきりずっ  
こけた「俺メダ」の募集広告、だった(本当に  
スカな結果だった)。ここではあえて「松」「梅」  
「スカ」のネタばらしは行わない(だって…  
時事ネタ中心だし…。)。でも「俺メダ」に関し  
ては設定重視でもっと個人的につっ走って  
もOKだったのかもと、今一つ物足りなかつ  
たなあ…あれで結構身内に迷惑かけたし、  
本当、申し訳ありませんミダ(涙涙涙)。





## そして…

カリンにからかわれていると感じて  
激昂したイツキは、カリンの  
身代わりと名乗るその少女に怒りを  
ぶつける。苦痛と恥辱を与えられても  
なお健気に自分の胸の内を告白する  
その姿に、次第にイツキは彼女に対し  
言い知れない愛おしさを募らせて  
いった。一方、二人の光景を監視  
カメラから傍観していたアリカは…？



# キャプチャー3

2020年×月×日 PM6:00

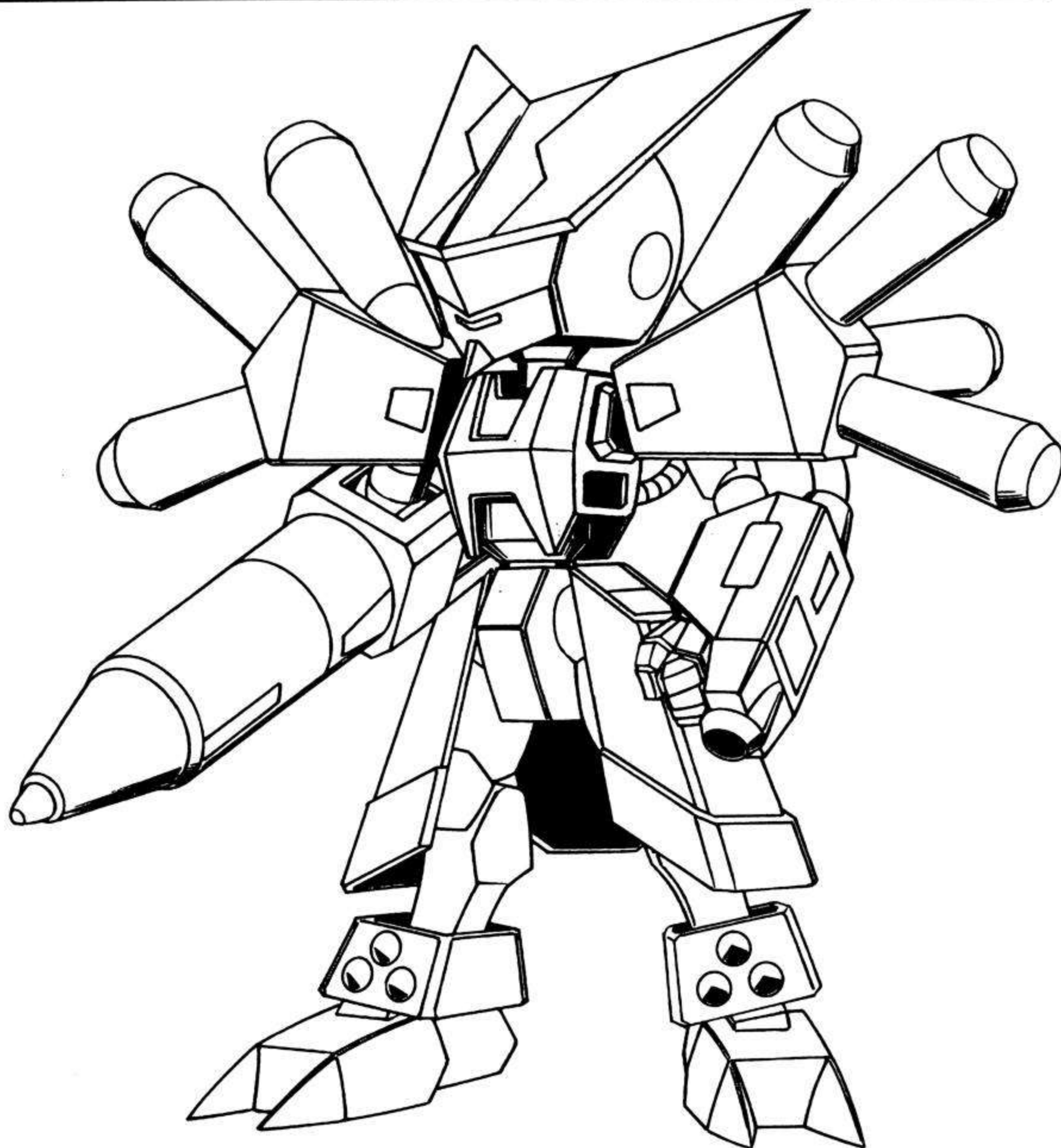
おみくじ小学校より

半径0.8km以内

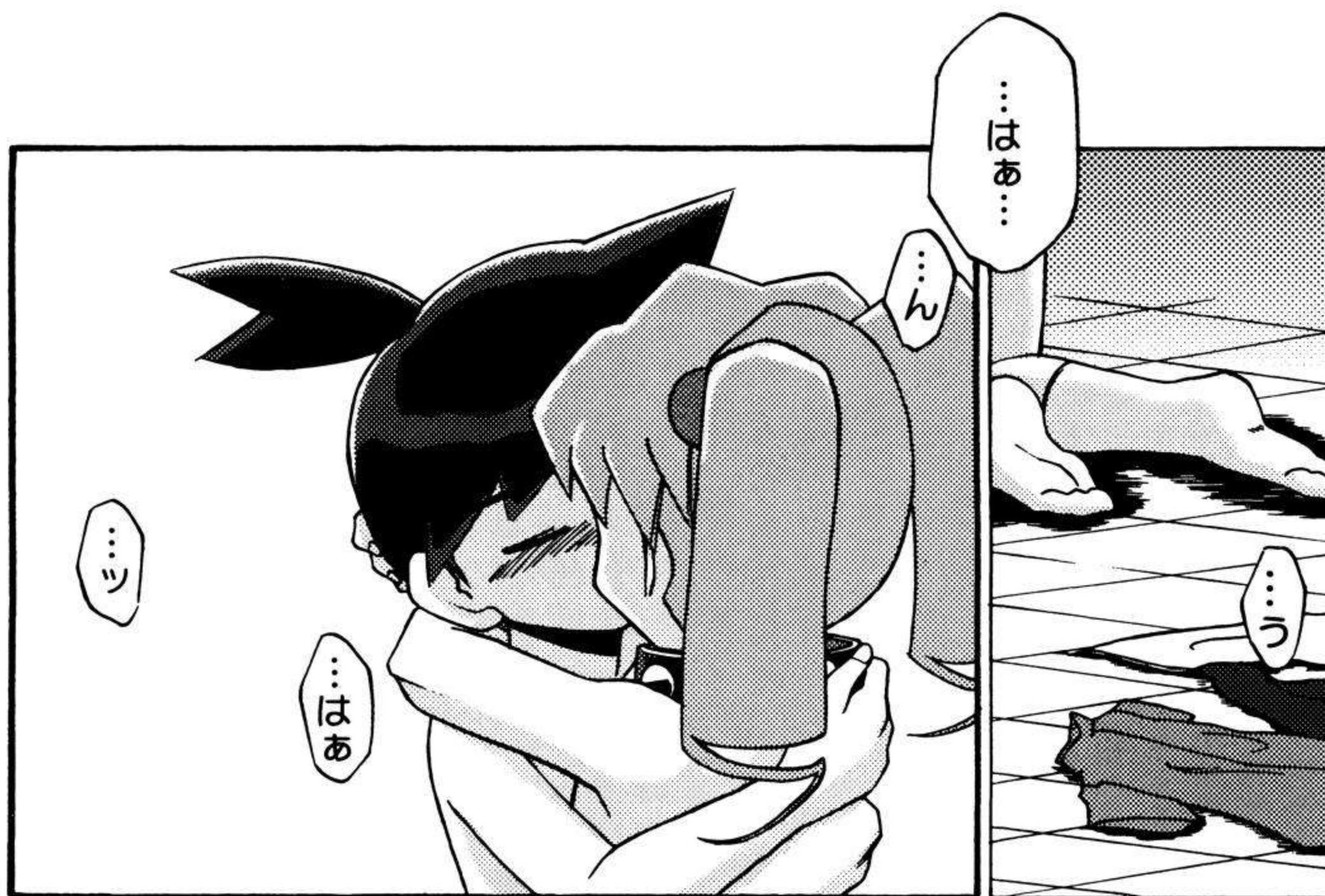
某プレハブ2Fにて

シアンドッグ with トレーニングパーツXA

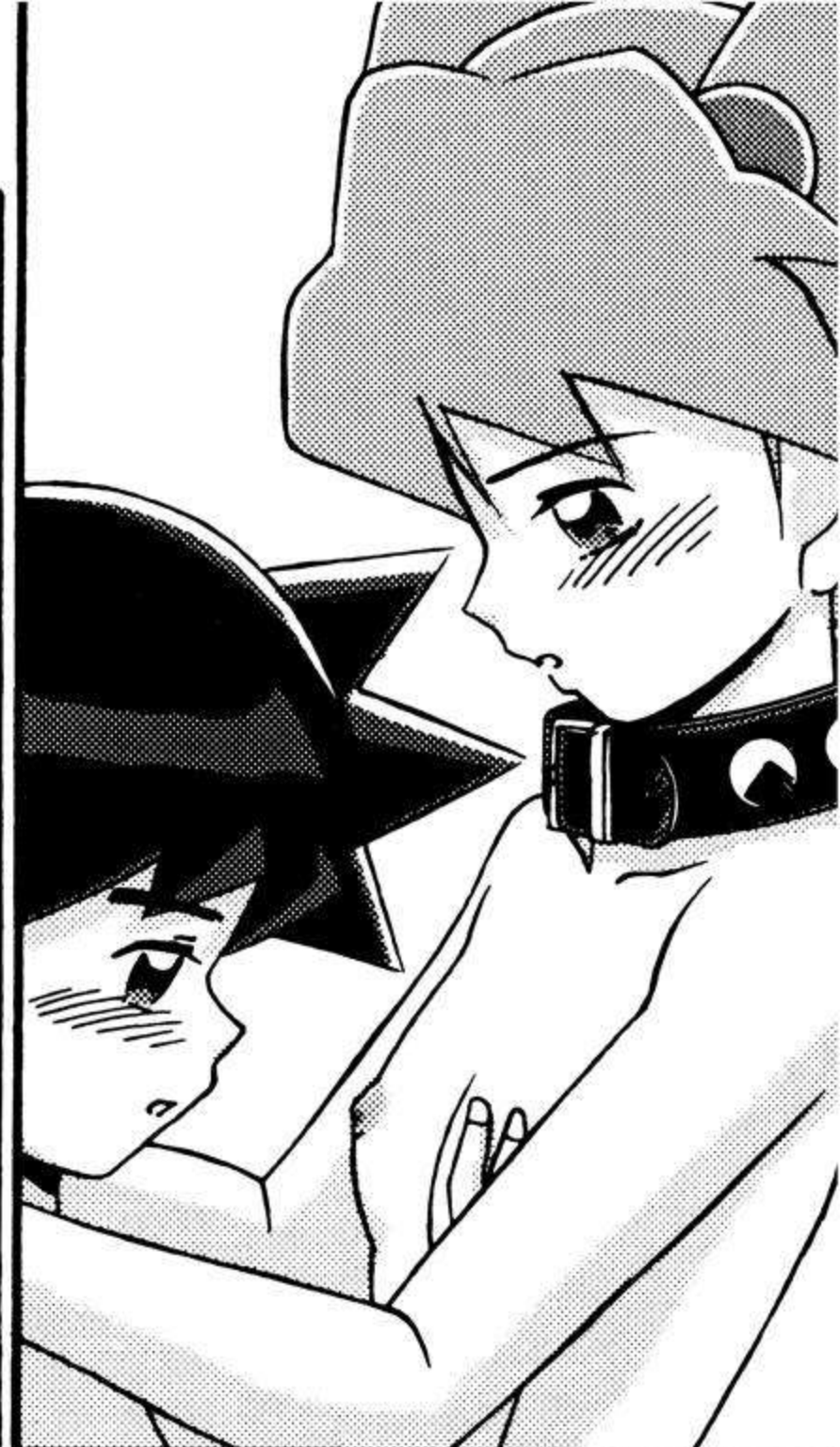
両肩の筒状パーツは浣腸用の各種薬液が満載されており、メダロッチからの指令で任意に調合し、右腕ユニットより浣腸を行う。パーツXPと同じく左腕にコントロールカードを装着し、さらにアナル調教用ビーズ型パイプレーターを内蔵。トレーニングパーツ中最も重装備である。







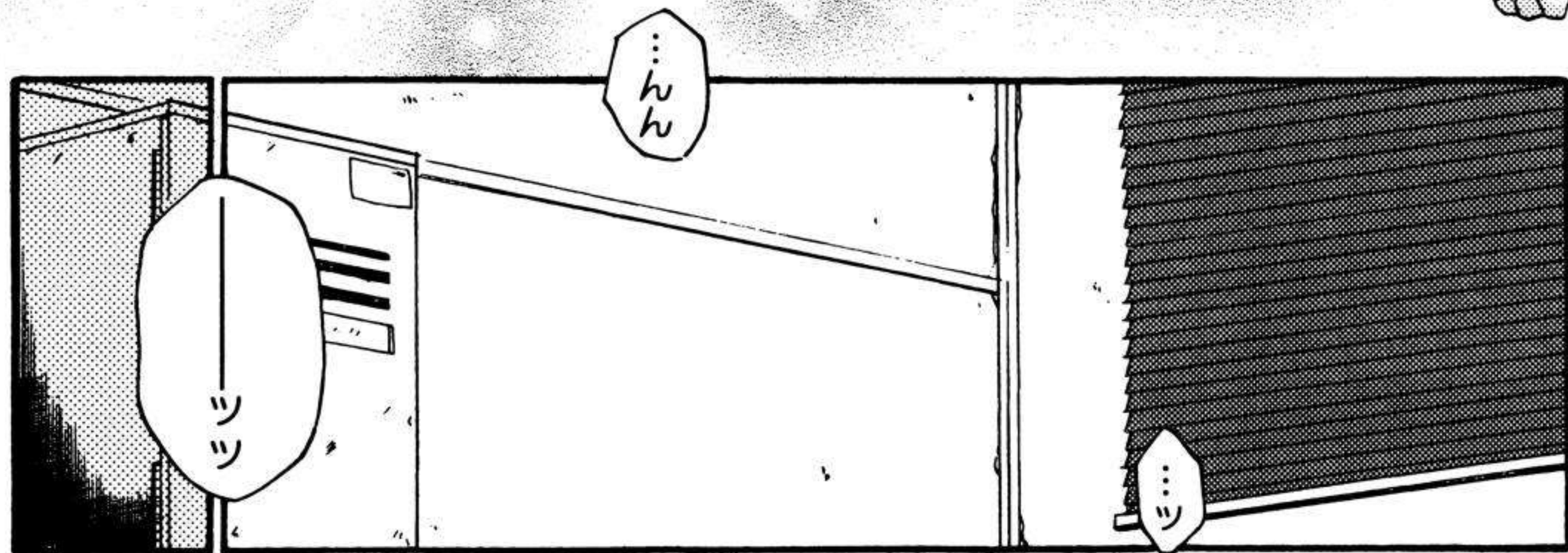








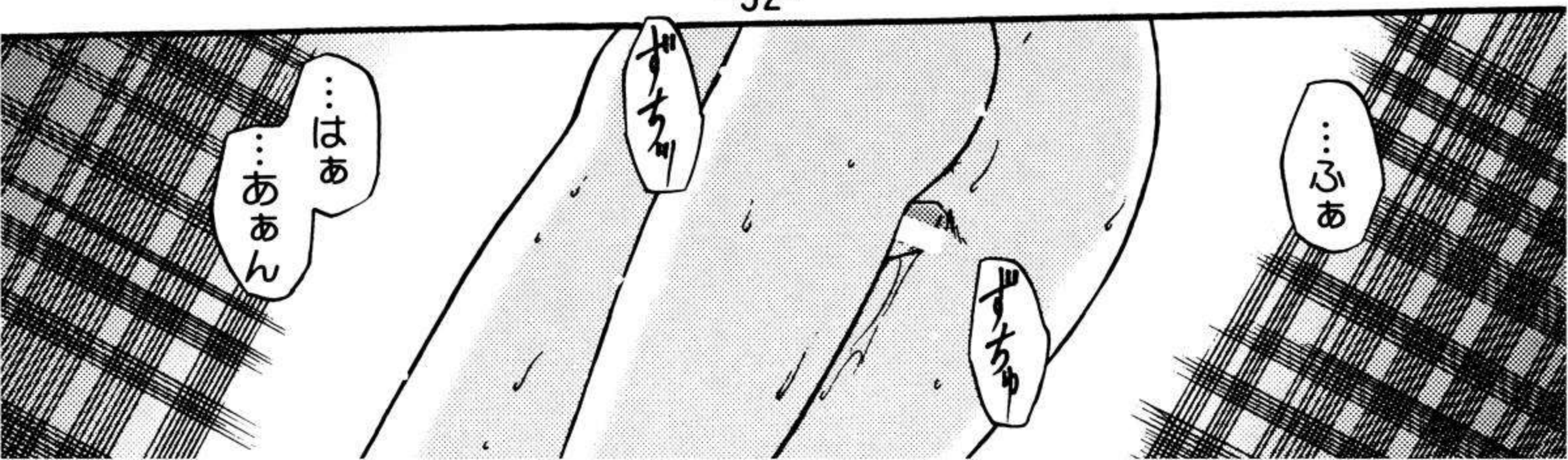
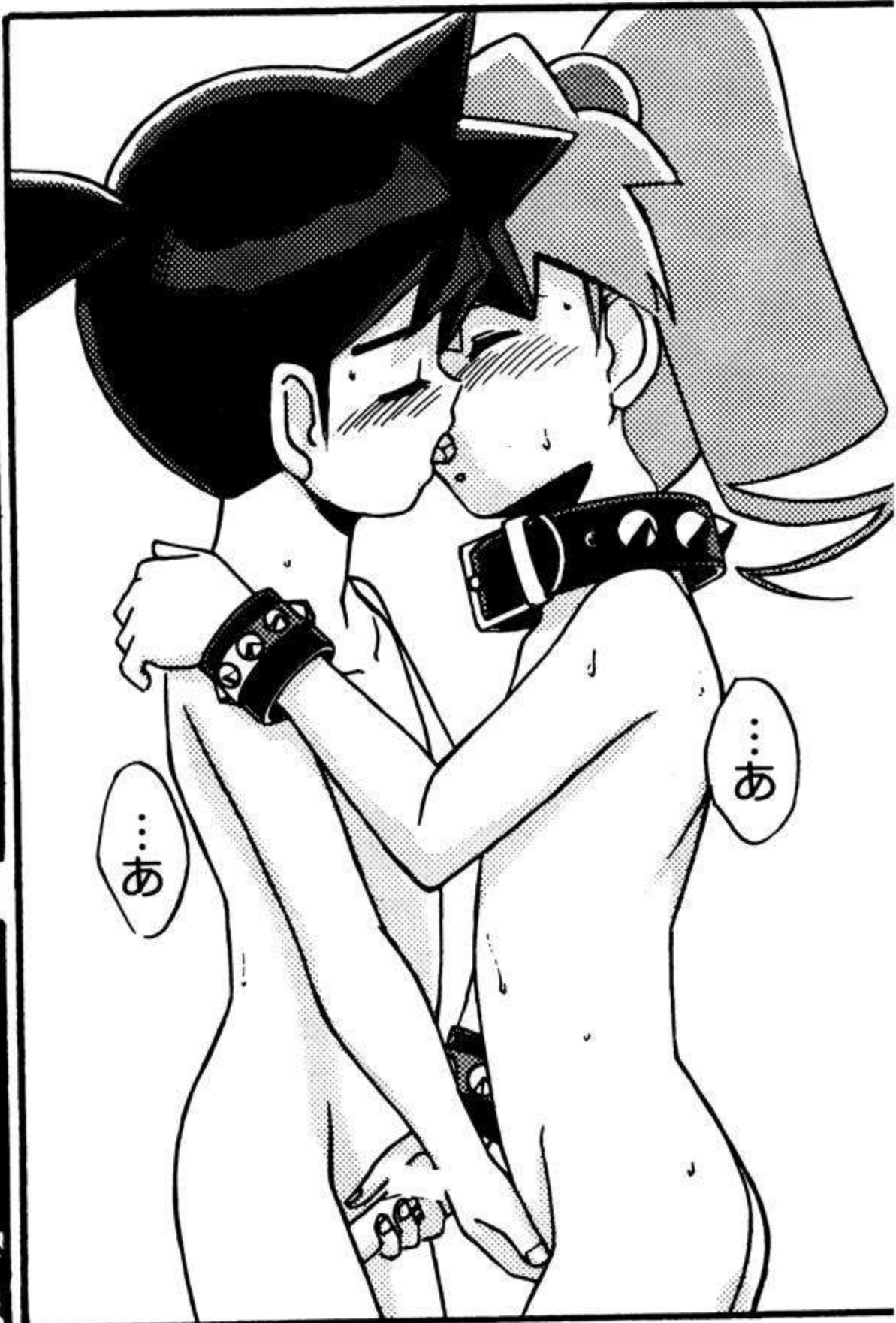
















-53-







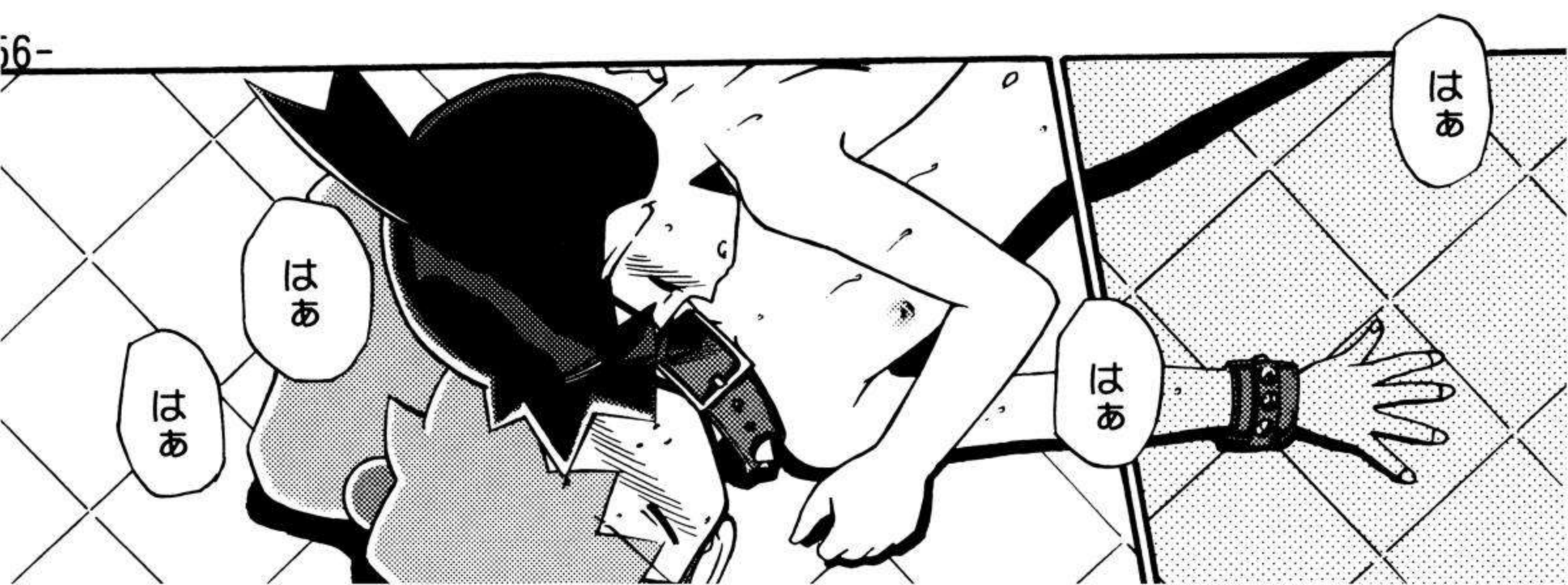




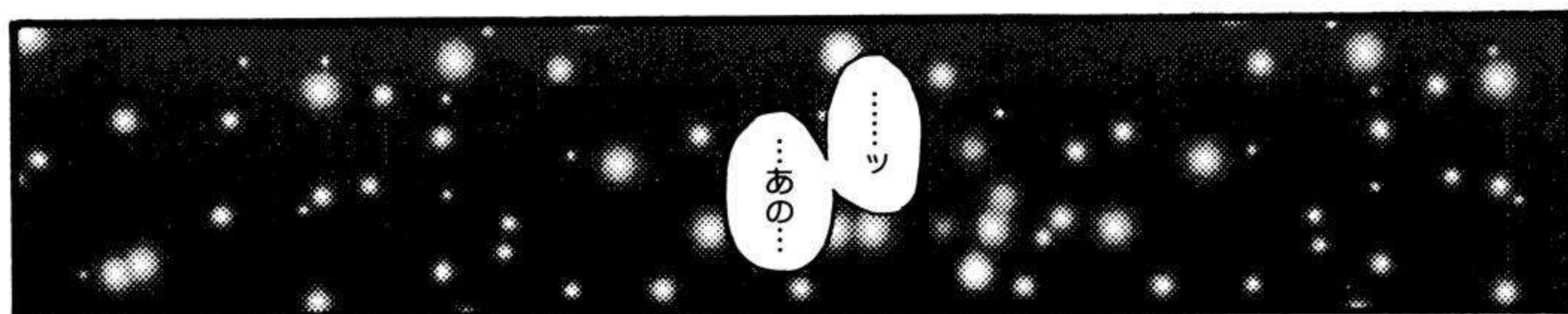




…私の…中に  
出して…  
ください…











…はあっ

ハア

ハア

はあ

…はあっ

…うっうっうっ  
あああ…

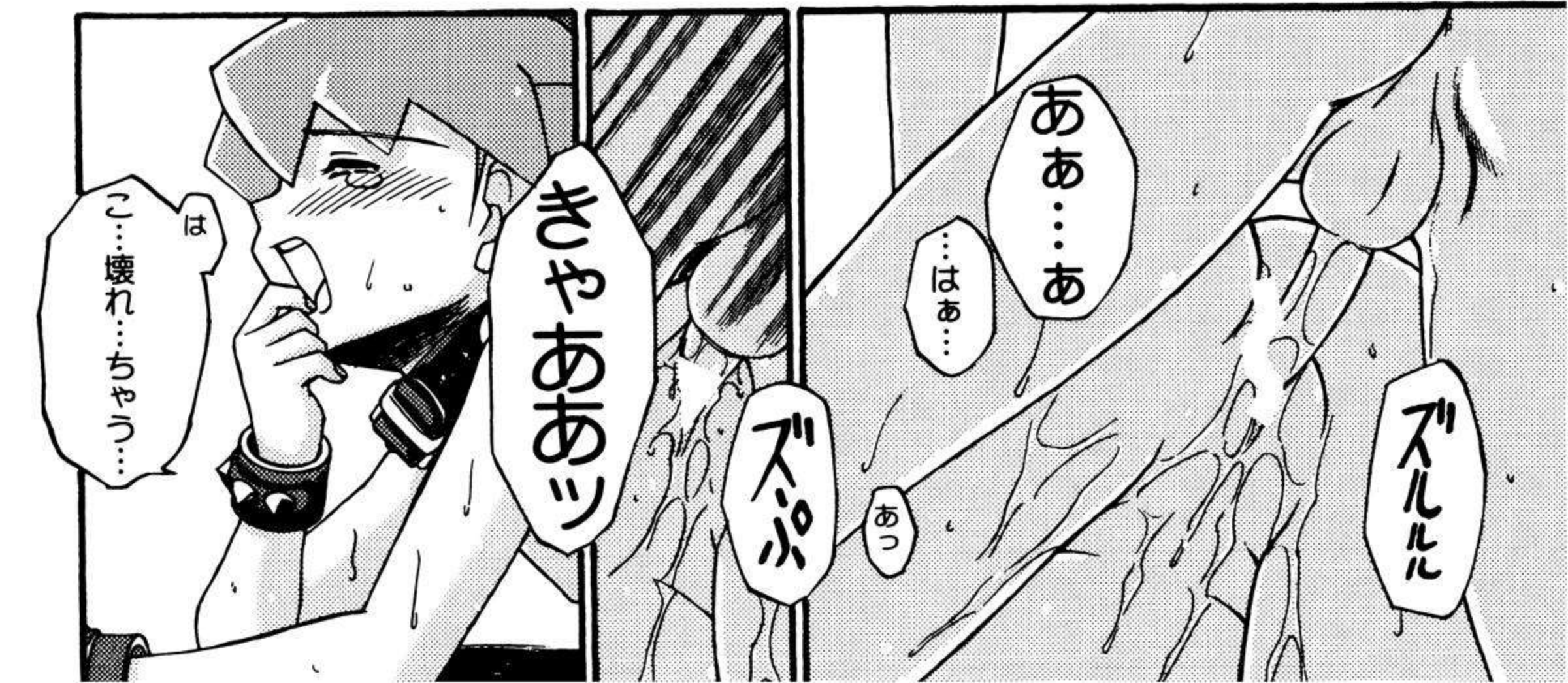
…あああ

…ああ…  
すこい…ですう

…お腹の…中まで  
いっぱい…んん

あっ

ああっ



ああ…あ

…はあ…

ズルル

ズッ

あっ

きやああッ

は  
こ…壊れ…ちやう…





……えい  
きやああッ

ああ……そ  
んな……

……ううう  
ううう……

ガッ

ガッ

あひい

ちゅ

……だ  
駄目  
やああッ

——ねえ  
どんな感じ？

ちゅッ

ちゅッ

ちゅッ

ちゅッ

……え……う

……あ……  
あたし

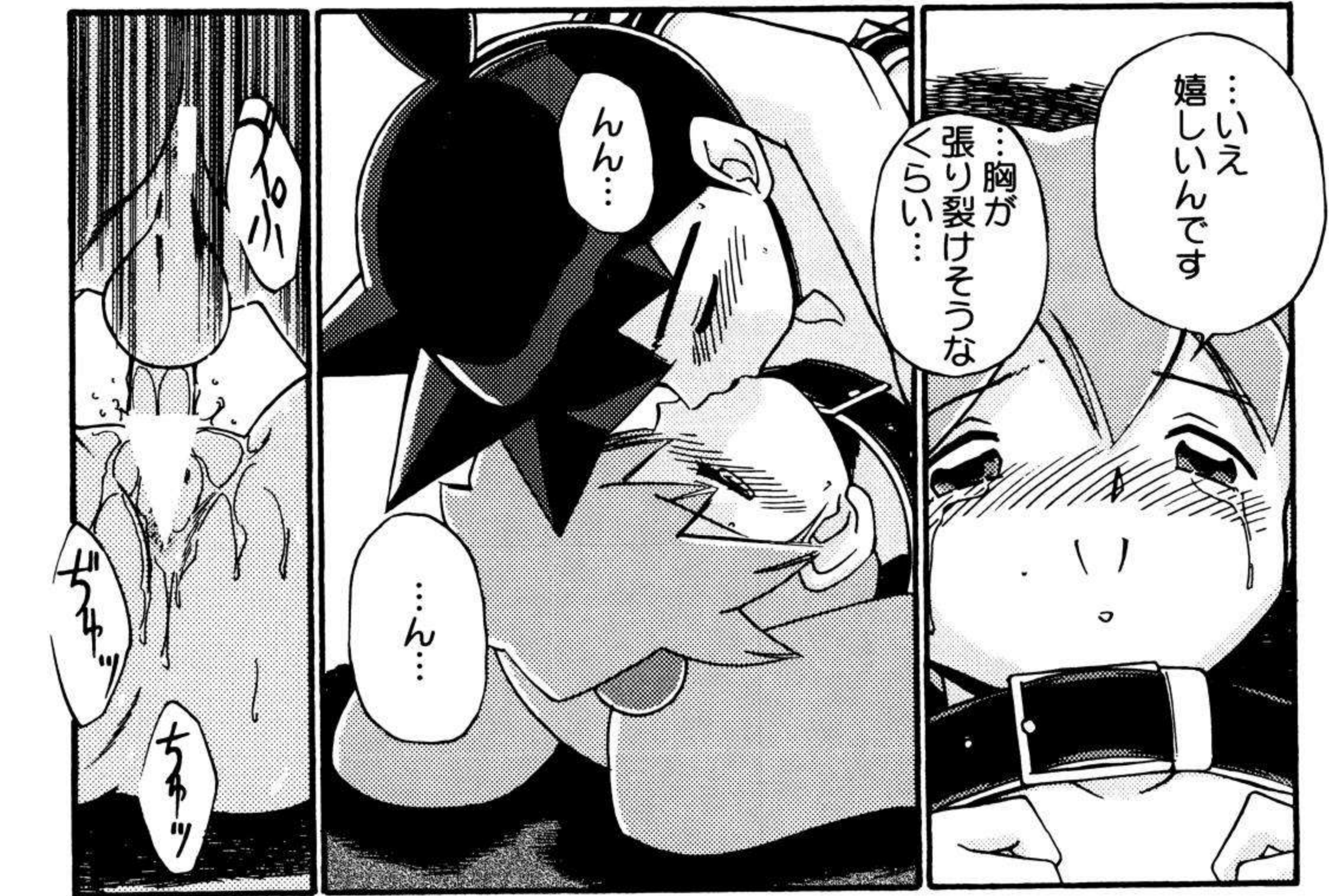
私……

……わたし……  
——もう……

ピッ

……う





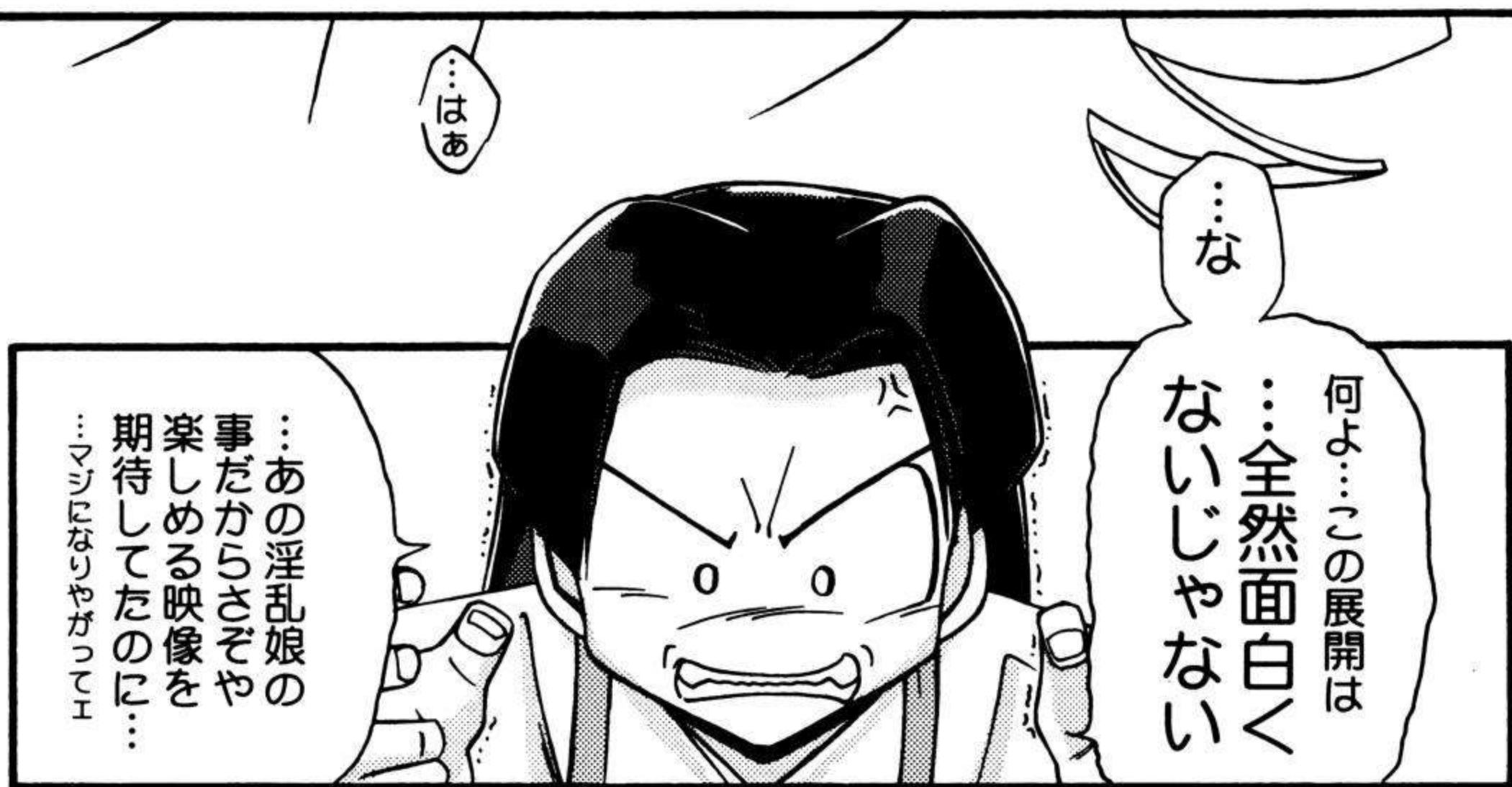






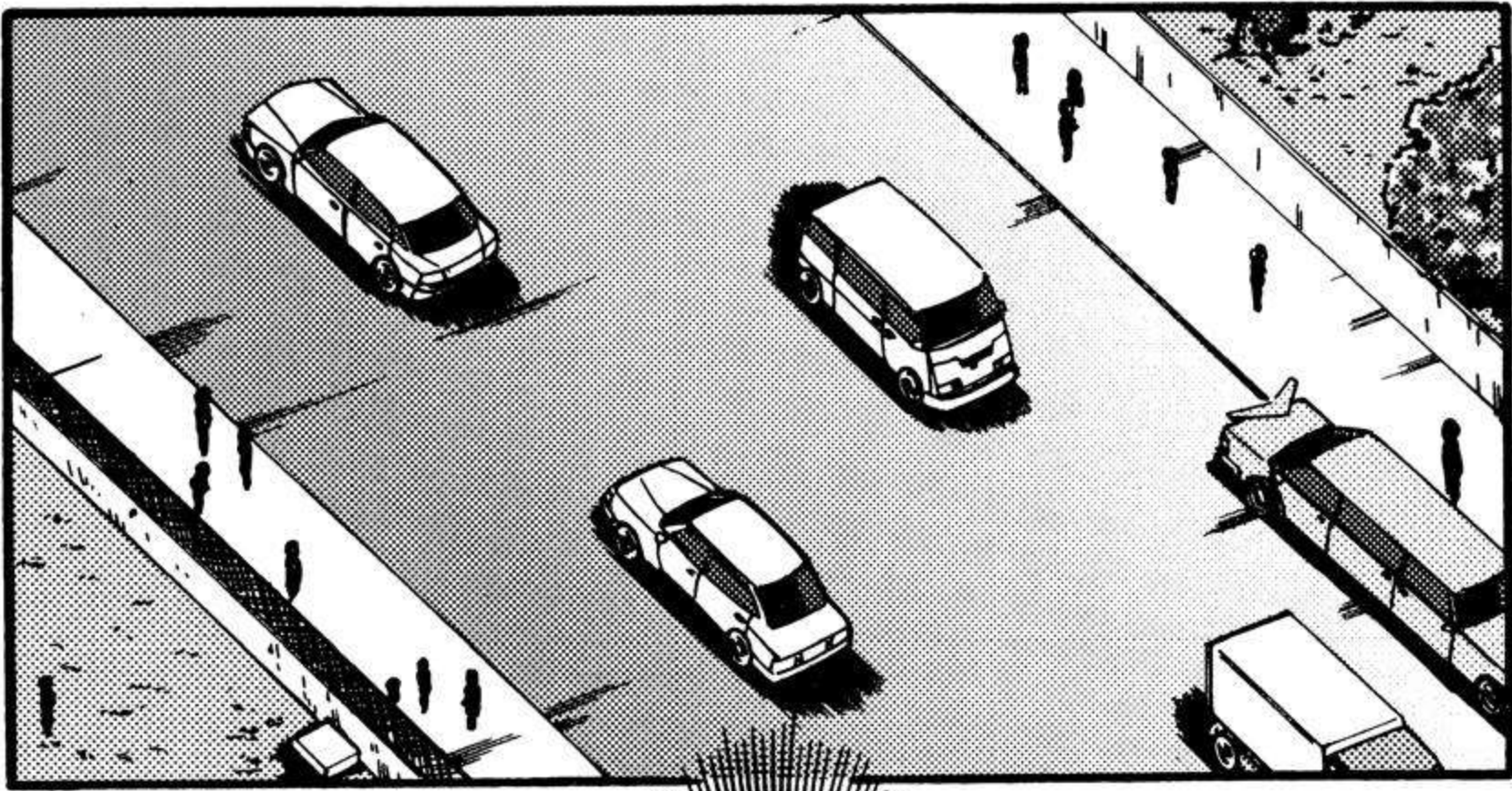






…で、次の日の朝。





…おいイッキ

昨日の晩は随分  
遅かったじゃないか  
…余り母上殿を心配  
させんじゃねエぞ

…うん

うん…つてお前  
少しは人の話を聞け  
テメエ  
真面目な話なんだゾ

…うるさいなあ  
分かってるよ

…イッキさん…





…終われ。



# 補足解説

※：[]内は掲載されている物語です。

**対人調教用カスタムパーツ:**メダロット社が販売する公式オプションとは異なり、一部のマニアが開発した非公認の部品で、ロボット目的の機能を排し、代りに対人用の調教(SM)パーツを搭載している。主に開発、製作は非合法組織(暴力団、秘密クラブ等)が行っており、販売形式は主にネット通販を介して流通されている。主な特徴としては両の腕パーツのみで構成されている事で、操作系の部品は左腕に集中しており、調教作業の詳細な指令はメダロッチを中継して行われる。その際、メダルの持つ感情は一時的に遮断され、メダロットは意思のない完全なロボットと化す。種類は主にX P (性感開発用)、X A (肛門開発用)、X B (痛感開発用)の三種類に分類されているが、体系的にはさらに数種類のバリエーションも確認されている。[竹]

**調教型メダロット:**辛口家の地下開発室で開発されていたカスタムメダロット。対人、対メダロット用の調教能力を持っており、メダロットに対しては洗脳を施して機体を完全に支配下に置き、人間に対しては洗脳の他に性感の開発も行う。メダルの持つ感情は機体によって制御されており、メダルの特性によって攻撃、調教のパターンが変化する。起動テストの直前に何者かの手によって、開発室ごと破壊されている。[梅]

**コスプレ用カスタムパーツ:**メダロット社製のパーツの他に、非ロボット用のデコレート用として一般ユーザーが作り出したパーツで、一部の愛好者達によって製作、販売されており、マニアによる即売会も開催されている様である。主に頭部パーツのカバーを中心に自作製の部品がコスプレ用として大量に流布し、特徴として人気ゲームキャラ(笑)やアニメキャラに似せたものに人気が集中している。[松]

**俺メダ:**一般に流通しているメダロットにオリジナルパーツを施したカスタムメダロットは一般的に「オリジナルメダロット(オリメダ)」と称されているが、一部の「我」の強い愛好者達によって製作されたオリメダはその名をもじって「俺メダ」と呼ばれている。主にサバゲー愛好者の「ドーラ型」、某白人至上主義秘密結社の「K K K 型」、萌える人達の「雌奴隷型」等、その種類は膨大で、全てを把握する事は困難である。厳密に言えば調教用パーツやコスプレ用パーツもこれらの範疇に属するのかもしれない。[スカ]

**オチの神:**収集のつかなくなったマンガの展開に際し半ば強制的に出現し、物語を強引に終わらせる荒ぶる神で、物語に応じて多種多様の形態を取って出現する(笑)。[梅]

注意:上記の設定はファンフィクションです。間に受けないように。  
でないと恥をかくのは貴方ですよ(笑)



# 人物解説

※: []内は掲載されている物語です。

**天領イッキ:**ビジュアルはアニメ版だが、性格設定はほるまりん版をベースにしている。ゲーム版の初期設定では、普段はおっとりしているが怒ると怖いという少年だったが、この点は藤岡建機版にも描かれている。今回の物語では性的に未熟な普通の少年として登場。[竹]

**甘酒アリカ:**アニメ版では演出家によって性格の描写にムラがあり今一つ掴み所の無い粗暴なキャラだった。ゲーム版初期設定では文字通りの男勝り。ほるまりん版ではやはり、新聞記者としての性格が強調されていた。今回の物語ではより謎の多い人物であり、如何にしてカリンの上の立場に君臨したのかについては不明である。[松][竹]

**スクリュース(キクヒメ、イワノイ、カガミヤマ):**今回の物語では、アリカの野暮用呼び出されたばかりに、彼女の悪事の片棒を担がされる羽目に。ほるまりん版ではイワノイの首には犬の首輪が付けられていた。性格的には全作品共通だが、ほるまりん版では若干クールに描写されていた。ビジュアルはアニメ版がモデル。[松][竹]

**純米カリン(苗字の漢字はこれでいいんだっけ?):**今回の物語の生贄兼ヒロイン。初期設定では眉毛が太かったが性格は全作品共通。ほるまりん版だとまるで人事のような暢気さが印象的。今回の物語では冒頭からアリカ達から陵辱されまくりだったが、その発端に関しては不明。ただしアリカが彼女に関する何らかの秘密を握っている事は間違い無い様だ。[竹]

**プラス:**アリカの所有するセーラーマルチ。全作品を通して御茶目なマスコットの存在。今回の物語でもコスプレ？を披露(笑)。[松][竹]

**メタビー:**イッキの所有するメタルビートル。ほるまりん版以外の作品では粗暴さがより強調された。因みにヒカルメタビーはBTL型、イッキとりんたろうのものはKBT型である。[竹][梅]

## 目次キャラ

**ロクショウ:**孤高の野良メダロット。アニメ版ではハードドラマパートを一手に引き受ける。

**ナエ:**アトム博士の孫娘。ほるまりん版以外では年上の女性としての部分が強調された。

**レトルトレディ:**初期設定のみに登場の、怪盗レトルトのパートナー。

あ、忘れてた(汗)。

**辛口コウジ:**初期設定ではイッキと対照的な熱血漢だった。全作品を通して無敵の金持ちの息子で選民思想の持ち主で大の虫嫌い。[梅]では肉食スカラベに食われる前から脳を蝕まれていたらしい。[梅]



# 解説

まさかこうなるとは…自分で描いてて思っていなかった。

あっという間だった。この原稿が描かれた当時はまだ「メダロット2」の頃で、アニメも始まって間もない頃だったと思った。小町屋でタカラ本を発行するという企画が動き出した時、この原稿の最初の段階は、十数ページの構成だった。もちろん松、梅、スカは含めて大体、20数ページ。しかし、結果は目の前にある。どこが、どう間違っただけでこうなってしまったのか。それは失敗なのか成功なのか、書いた本人すなわち自分は、答える事は出来ない。正解はこれを読んだ、手にした一人一人の感じ方によるだろう。

今となってはただの言い訳に等しいが、描いたものに関して分かり辛いと思った事に関して一つ一つ解説してみよう。

**「松」:**言わずもがな、時事ネタ。ネタに関しては何も言わない。ただし「松」と名乗るからにはそれなりに手を加えてやらねば「松」っぽくない。よって、たった2ページに丁寧にトーンを張って、それなりに手を加えた、ハズ。ちゃんとアップじゃ10%カゲがついてる。拘りはここいだけ。ネタはいいかげん。リーフもブロッコリーも巨人も別に熱狂的シンパじゃないし。これ描いた当時は確か、TBSの「ワンダフル」時間帯でデジキャラットが放送される前だった。

**「梅」:**「梅」なのでトーン処理一切ナシ。画面に影だけ、勝手に考えた調教型メダが登場。コウジ君の頭に取りついて脳まで達した「肉食スカラベ」は「ハムナプトラ」の愛すべき昆虫。大量に登場させてコウジ君が食われるのも…よかったかも？オチの神は…コメント無し。コメントすると後ろから撃たれそうだし。

**「スカ」:**ネタ切れだったので、ネタを募集。本当に「スカ」だった。安易に他人に頼るべきではないと、改めて心底思い知らされた。自分だけで突っ走るべきだった。だって小町屋関連でメカを好き好んで描く奴なんていないんだもん。自分以外。

**「竹」:**読む側にとっては「松」以上にリッチだったりして。そういう感覚も想定してページ数も多めに考えた。その数は当初、16ページ以上。ところが、そのページ数でも物語が収まらない事が判明して次第に枚数が膨張し、こんなん出ました。

自分は口数で拘りを主張するより、何らかの作業によって何かを作り出す事で拘りを主張する、そういう人間だと思う。だからと言って、アニメ版はおせじにも感情移入出来るような出来ではなかった。妙にアナクロな設定、演出家によってバラツキが目立つ荒れた演出、偏りの目立つキャラクター…番組後半とその続編「メダロット魂」は殆ど見ていない。その代りボンボン掲載のほるまりん版「メダロット2」は欠かさず読んだ。一見手抜きのように見えて噛めば噛むほど味のある画風、隠し味のようなマニアックな小ネタ、横山光輝のような淡々とした展開

…派手さはないけど、安心して読める、そんなマンガだ。一方の藤岡建機の「～りんたろう」は当初、あれはあれで楽しめた。キャラよりメカの方が気に入っていたし。ただしPS版「メダロットR」の時期から「イッキ」の世界と「りんたろう」の世界がリンクしてから話が収集がつかなくなり出して、終わりの方になるともう投げやりな決着だったのが不満だった。いくらタイアップものと言っても限度ってものがあるだろうが！



「竹」のマンガを描いている間、自分の中でこんな感情的な流れがあった、と思ってもらおう。小町屋で原稿を描く時、殆どの場合、元ネタに対する敬意は皆無だ。だから自分はサムスピもセイントテールもコメットさんも別に特別な感情は抱いてはいない。逆に、お気に入りのキャラクターを扱った時の結果は無残だ。意気込みと出来あがりのギャップがかけ離れ過ぎだ。

今回の「竹」でも、お気に入りのキャラクターは実は「ロクショウ」なのだ。だから、彼の他のキャラは何の躊躇も無く扱う事も出来る。

その代り、感情移入しない代りに個人的に盛り込みたい事を盛り込む。今回のテーマは「子供同士での『大人の恋愛』」だ。肉体的、精神的に未成熟の少年少女が「大人の恋愛」に基づく行為に遭遇した時の、感情の変化と対応はどうなるのだろうか、それを考えた。

当然ながら、殆ど実例などというサンプルは存在せず、想像の他に頼るものは無い。官能小説に頼る方法もあったけど、大体が読者受けのシチュエーション、即ち読者の期待する展開なので全く役に立たない。その中で、御影 凌という人の作品が現段階で、最もこの考え方に近いと思った。

確かにこの人の小説も舞台設定からかなり無理やりだし(秘密結社やら謎の血統やら、謎の組織がよく登場するのもこの人の作風)、野郎側にとって都合のいい話中心だけど、この人の描く女の子って普通で、健気で、ウブな子が多い。作者が本当にちっちゃい女の子が愛しいのだろう、虐待される場面も本当に痛々しさが強調されている(そして虐待した野郎共には、死に等しい制裁が待っているのもこの人の作風)。

今回の「竹」は、行為そのものもさる事ながら、感情の進行をどう表現するかという事が重点に置かれている。読む側としての展開はキャプチャー1が最も期待に添っていると思う。反対に、それを描く自分の感情移入は全く皆無だ。キャプチャー2では主題としたものに自分としてはどこまで読み手に伝える事が出来るかという挑戦だと考える。キャプチャー3は読み手側と描き手側の両方の邂逅、そんな所か？

実を言うと、この話はまだ続きを考えていたんだけど、これ以上の無茶はマズイと思って止めた。時期的にもメダ2を通り越してメダ3、メダ4、メダナビの時期までずれ込んだし。完全な「出し遅れの証文」である。個人的にももうメダロットはうち止めである。一生分のメダロットは描いたと思う。自発的にはもう描かない。第三者からの要請がない限り。

あ、もっとアークも描きたかったなア…



# 編集後記

とにかく未経験、未体験の連続。原稿の実質的な作業の半分はすでに数ヶ月前に終了してはいたが、トーン処理に関する作業でアナログ作業かデジタル処理かのどちらかを選択するかで、かなり難儀した。10月中旬にビッグボスの助言を得て初のデジタル処理に挑戦してはみたが、とにかく手間がかかるの何のって…初めてとは言え、今回の発行に関して言えばまだ満足のいく出来には

程遠いものである。次回があるとしたらもう少しまともな出来にしたいものだ。機材も知識も不足している。時間も足りない。

最後に、デジタル出版に際し多大な協力を提供して下さった「小町屋」ビッグボスたる犬氏、並びにデジタル処理に関する知識と

助言を下さった山野紘三郎氏に心より感謝致します。

「金は使えば減るものだが、友情は使えば反対に増えるものだ」とは誰かが言った言葉だが…出来るものなら親しい者達にこれ以上の負荷はかけたくないものだ。



## MEDAROT「竹」

Published by LumperSheider

Produced by Komachiya

2001/12/30

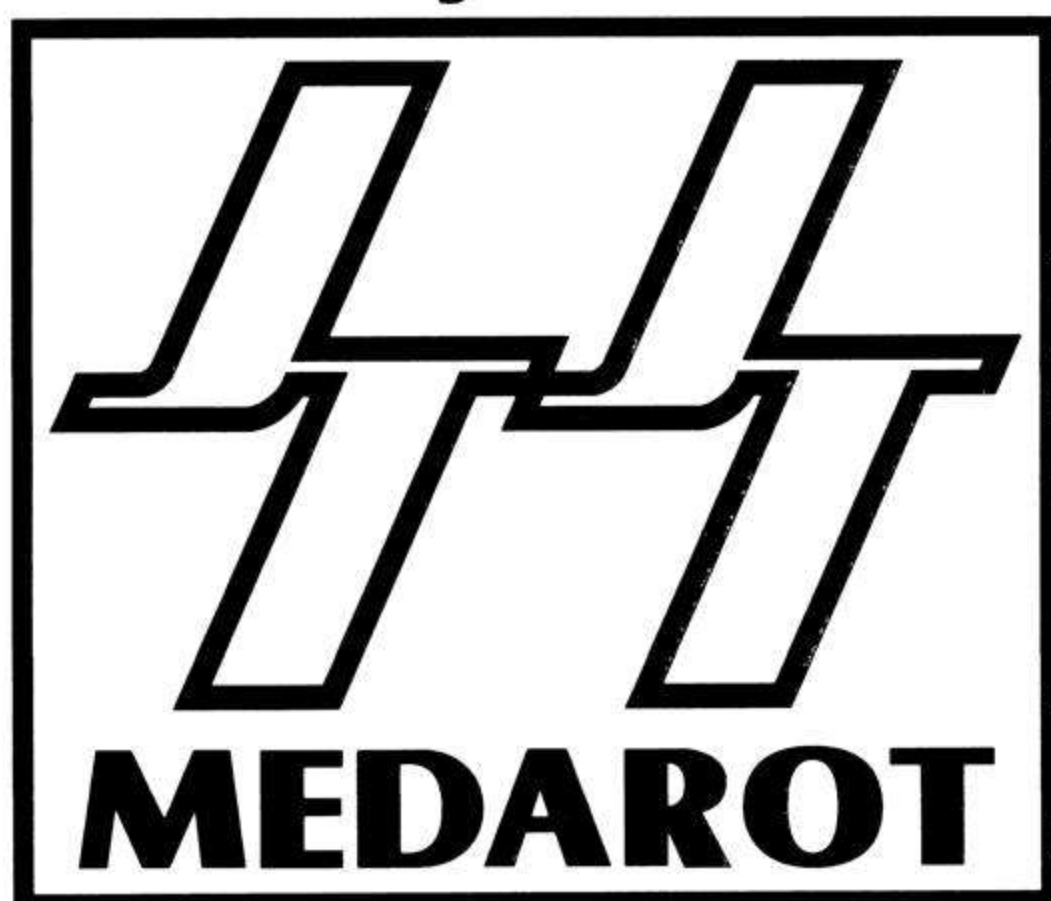
mail to:lumper@cocoa.freemail.ne.jp







**Komachiya Produced:**



**LumperSheider Published:**